EPSON

LM-C6000 LM-C5000 LM-C4000
Epson Print Admin Serverless

導入・管理ガイド

NPD7844-00 JA

目次

はじめに 4

本書について 4
マニュアルの見方 4
マークの意味 4
掲載画面 4
OS表記 4
マニュアルで使用する用語 5

認証方式の概要 7

本体認証 7
外部認証 7
本体認証と外部認証 7
みなし認証 8

システム条件 9

プリンター 9
クライアントコンピューター 9

セットアップの概要 10

セットアップに使うソフトウェア 10
Web Config 10
Epson Device Admin 11
認証方式による必要な設定 13
個別セットアップの流れ 14
一括セットアップの流れ 15
アプリケーションの機能差 16

認証装置の接続 22

認証装置を接続する 22
認証装置の接続確認 22
設定できる認証情報の読み取り方法 22
認証装置設定項目 22
認証装置、認証カード保存フォーマット設定項目 . 23

情報の登録とシステム設定 24

ライセンスキーの取得について 24
ライセンスキーの登録 24
Web Configでライセンスキーを登録する 24
Epson Device Adminでライセンスキーを登録する 25
設定テンプレートを新規作成する 25
ライセンスキーをインポートする 26
設定テンプレートを適用する 27
Web Configを使った個別設定 30
Epson Print Admin Serverless 設定メニューを使う 30
ユーザー認証設定をする（Web Config） 31
印刷ジョブを設定する（Web Config） 33
ユーザー情報の登録（Web Config） 34
クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定（Web Config） 41
LDAPサーバーとの連携（Web Config） 45
オプション機能の設定（Web Config） 47
Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定 59
Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要 60
ユーザー認証設定をする（設定テンプレート） 61
認証装置を設定する（設定テンプレート） 64
印刷ジョブを設定する（設定テンプレート） 64
スキャン to マイフォルダー機能を設定する（設定テンプレート） 65
スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能の宛先編集を禁止する（設定テンプレート） 68
クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定（設定テンプレート） 68
LDAPサーバーと連携する（設定テンプレート） . 73
ユーザー情報の登録（設定テンプレート） 77
その他の設定（設定テンプレート） 82

クライアントコンピューターの設定 92

プリンタードライバーのインストール 92
プリンタードライバーの設定 92
Windowsドライバーのユーザー設定 92
Mac OSドライバーのユーザー設定 93
認証情報の接続形態について 94

運用・管理 96

Epson Device Adminを使ったユーザーレポート 96
ユーザーレポートを生成する 96
レポート出力の項目 101
Epson Device Adminを使ったプリンターの管理 102
Epson Print Admin Serverless / 認証機能設定メニューを表示する 102
ユーザー情報のメンテナンス 103
Web Configを使ったプリンターの情報確認 . 108
メール通知とスナップショット 108
印刷ジョブを削除する 108
登録されているお気に入り（個人のクラウドストレージ）を管理する 109
設定のバックアップ 110
Web Config設定 110
Epson Device Admin設定テンプレート 111
Epson Print Admin Serverlessの無効設定 113
Web Configから無効にする 113

困ったときは 114

認証カードが読めない 114
Web Configを開けない 114
Epson Print Admin Serverlessを有効にできない 114
ライセンスキーが期限切れと表示される 114
Epson Device Adminのレポートに内容がない 114
どこでも印刷機能に関するトラブル 115
どこでも印刷機能が設定できない 115
どこでも印刷機能で連携したプリンターで印刷ジョブが選択できず印刷できない 115
クラウドディレクトリーサービス使用時のトラブル 116
スキャンしたファイルをクラウドストレージにアップロードできない 116
クラウドストレージにあるファイルを印刷できない 116

付録 117

プリンターに記録されるユーザー情報 117
商標 117
ご注意 118

はじめに

本書について

本書は、Epson Print Admin Serverlessシステムの導入から日常のメンテナンスまでを説明しています。
本書に記載されていない、プリンターの機能についてはプリンターのマニュアルをご覧ください。

マニュアルの見方

マークの意味

⚠注意　この内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考　補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

掲載画面

- プリンタードライバーの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierra（10.13）での表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- 機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X 10.9.5」以降、「macOS 10.12」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルで使用する用語

Epson Print Admin Serverless

プリンターを使うユーザーの認証をプリンター本体だけで行えるエプソン製のシステムです。

ライセンスキー

Epson Print Admin Serverlessを有効にするキーです。

ユーザーID

Epson Print Admin Serverlessの認証ユーザーの固有IDです。

ID番号

ユーザーIDに関連付けられた4～8桁の数字です。

ユーザー情報

ユーザーID、パスワード、ID番号、メールアドレスなど、認証のためのユーザーに関する情報の総称です。

認証装置

ICカードリーダーなど本人を認識する情報を入力する装置です。

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関して設置や設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指し、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

Microsoft Entra ID

Microsoftが提供するクラウドベースのIDおよびアクセス管理サービスです。

Microsoft 365

Microsoftが提供するクラウドを利用したサブスクリプションサービスです。

LDAPサーバー

LDAPで通信できるディレクトリサービスを提供しているサーバーを指します。Windows ServerのActive Directoryなどがあります。

印刷ジョブ

クライアントコンピューターからプリンターに送信された印刷データです。

Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

ASCII （アスキー、American Standard Code for Information Interchange）

標準的な文字コードの一つです。アルファベット（a-z、A-Z）やアラビア数字（0-9）、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII文字」と表記している場合、下表にある0x20～0x7E（16進数）を指し、制御文字は含みません。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP*	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	

*　空白文字（スペース）です。

認証方式の概要

Epson Print Admin Serverlessを使用すると、ネットワーク上のプリンター単体で認証できます。

本体認証

プリンター本体に登録されているユーザー情報と、印刷やスキャンを利用するユーザーの情報を照合して認証します。
ジョブの履歴にユーザー情報が結び付くため、ユーザーごとの使用状況を把握できます。
ユーザー情報は個別入力やCSVファイル、LDAPサーバーからインポートして登録した分を合わせて1000件まで登録できます。
あらかじめ本体にユーザー情報の登録が必要です。

外部認証

連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。利用できる外部認証は以下の通りです。

- Microsoft Entra ID 認証
- LDAPサーバー認証

外部認証のユーザー情報は1000件までプリンター本体にキャッシュとして一時的に保存されるため、外部認証の障害時などにはキャッシュを使ったユーザー認証ができます。
あらかじめ外部認証の設定が必要です。

本体認証と外部認証

プリンター本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。利用できる外部認証は以下の通りです。

- Microsoft Entra ID 認証
- LDAPサーバー認証

ユーザー情報の照合は、先にプリンター本体に登録されているユーザー情報を検索して、該当がなかった場合に外部認証のユーザー情報を検索します。ユーザー情報は本体に1000件まで登録できます。空いている分は外部認証のキャッシュとして一時的に使用され、外部認証のユーザー情報が保存されます。外部認証の障害時などにはこのキャッシュを使ったユーザー認証ができます。
あらかじめユーザー情報の登録と、外部認証の設定が必要です。

みなし認証

あらかじめプリンターに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。認証情報には、IDカード内の企業名や組織名などプリンターを利用するユーザーに共通する情報のあるブロックを設定します。IDカードをかざすと、IDカード内の認証情報に該当するジョブを印刷できます。
個々のユーザー情報を使用しないため、ユーザー情報を利用した機能は使用できません。
プリンター本体へ個々のユーザー情報を登録しておく必要はありません。

システム条件

プリンター

ファームウェア

ファームウェアバージョン：GW0506（2024年6月5日）以降

Web Config用ブラウザー

- Microsoft Edge
- Internet Explorer 9以降
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Safari 最新版

クライアントコンピューター

オペレーションシステム

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows
  Windows 7～
  Windows Server 2008～
- Mac OS
  Mac OS X 10.9.5～、macOS 10.12～

プリンタードライバー

- Windows：機種用標準ドライバー
- Mac　OS：機種用標準ドライバー

セットアップの概要

一度に導入するプリンターの数やネットワーク環境によって、異なるセットアップ方法が選択できます。

！重要

- セットアップするには管理者パスワードが必要になります。プリンターのユーザーズガイド の「管理者パスワードに関する注意点」をご確認の上、セットアップしてください。
- Epson Print Admin Serverlessをセットアップするときに、ユーザーアカウント情報やユーザーパスワードなどの個人情報やセキュリティー設定をプリンター本体に登録する必要がある場合があります。プリンター本体での個人情報やセキュリティー設定の扱いの詳細については、プリンターの『ユーザーズガイド』を参照してください。

セットアップに使うソフトウェア

セットアップに使うソフトウェアを紹介します。

Web Config

Web Configは、設定確認や変更がブラウザー上でできる、プリンター内蔵のWebページです。プリンターにネットワークから直接アクセスして操作するので、１台ずつセットアップする場合に適しています。

Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザーを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

- HTTPSアクセス
  IPv4：https://プリンターのIPアドレス
  IPv6：https://[プリンターのIPアドレス]
- HTTPアクセス
  IPv4：http://プリンターのIPアドレス
  IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]

記入例

- IPv4:
  https://192.0.2.111/
  http://192.0.2.111/
- IPv6:
  https://[2001:db8::1000:1]/
  http://[2001:db8::1000:1]/

参考 DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

Web Configにログオンする

セットアップするには管理者でログオンする必要があります。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. ［ログオン］をクリックします。
3. ［ユーザー名］と［現在のパスワード］にユーザー名と管理者パスワードを入力します。
4. ［確認］をクリックします。

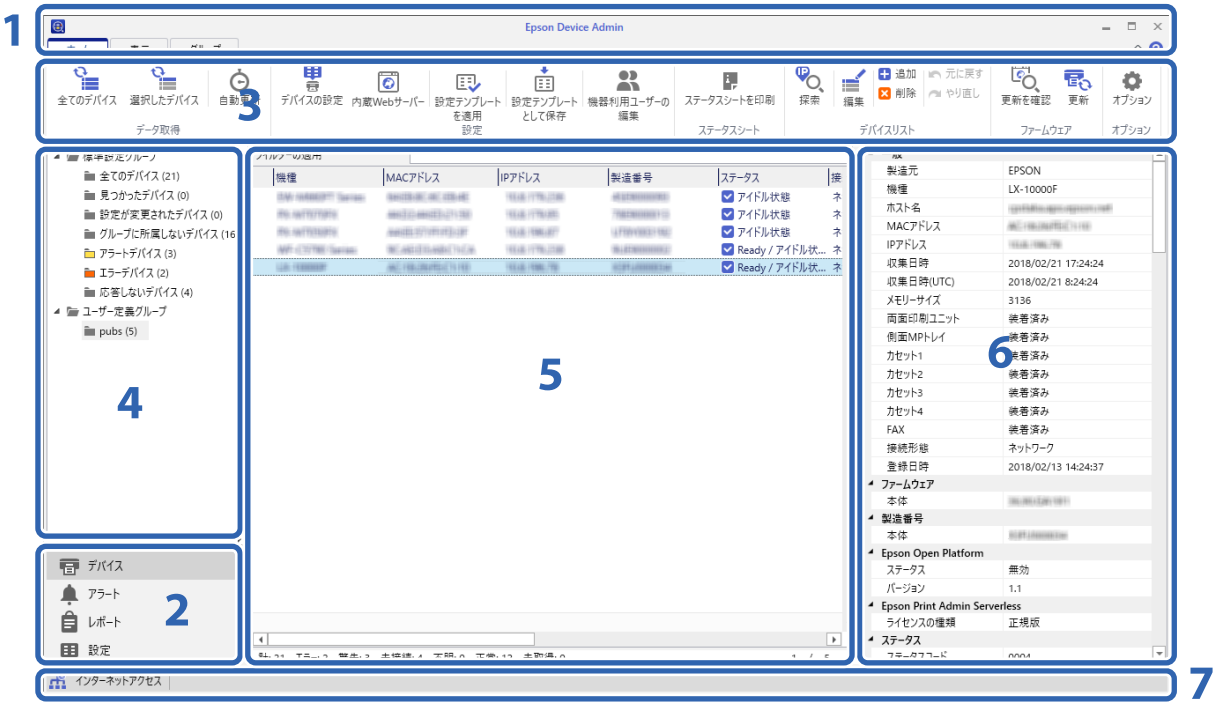
Epson Device Admin

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスを管理するアプリケーションソフトです。
以下のような機能があるため、複数のプリンターを導入、管理する場合に適しています。

- セグメントを越えた複数のプリンターに統一した設定値を適用する
- 使用履歴やジョブ履歴などの詳細なレポートを出力する

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。Epson Device Adminの対応オペレーティングシステムの情報は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。



Epson Device Adminのトップ画面は以下のペインで構成されています。
トップ画面はサイドバータスクメニューで選択されている項目に応じて表示が切り替わります。

番号	ペイン	説明
1	タイトルバー	をクリックすると、Epson Device Adminの各項目の説明が記載された Help が起動します。
2	サイドバータスクメニュー	使用する機能を切り替えます。選択した項目に従って画面全体が切り替わります。
3	リボンメニュー	サイドバータスクメニューで選択されている機能のメニューが表示されます。
4	サイドバーコンテンツ	サイドバータスクメニューで選択されている機能のツリー構造が表示されます。
5	表示ビュー	サイドバータスクメニュー、サイドバーコンテンツで選択されている機能に応じた情報や 設定内容などが表示されます。
6	デバイス詳細情報	サイドバータスクメニューで［デバイス］が選択されているとき、デバイスリストで選択 しているデバイスの詳細が表示されます。
7	ステータスバー	サイドバータスクメニューで［デバイス］が選択されているとき、デバイスリストのステータス情報が表示されます。

Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する

Epson Device Adminを使ってプリンターを設定する前に、Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録します。

参考 プリンターの管理者パスワードを変更した場合は、Epson Device Adminに登録されているプリンターの管理者パスワードを更新してください。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。
3. ［オプション］-［パスワード管理］を選択します。
4. ［自動パスワード管理機能を有効にする］にチェックを付けて、［パスワード管理］をクリックします。
5. 該当するプリンターを選択して［編集］をクリックします。
6. パスワードを設定して、［登録/更新］をクリックします。

認証方式による必要な設定

認証方式によって必要な設定が異なります。下表を参照して、設定を行ってください。

設定	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
ライセンスキーの登録	○	○	○	○
認証装置の接続、設定	○*1	○*1	○*1	○
ユーザー認証設定	○	○	○	○
印刷ジョブ設定	○	○	○	○
利用者制限設定	○	○	○	○
認証しないで使用できる機能の設定	○*2	○*2	○*2	○*3
クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定	○*3	○*3	○*3	×
Microsoft Entra ID認証の設定	×	○*4	○*4	×
LDAPサーバー認証の設定	×	○*5	○*5	×
ユーザー情報登録	○	×	○	×
メールサーバーの設定	○*6*7	○*6*7	○*6*7	○*6
スキャン to マイフォルダー設定	○*8	○*8	○*8	×
どこでも印刷機能	○*9	○*9	○*9	○*9

設定	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
ページ数管理設定	○*10	×	○*10	×

*1　：認証手段に［認証カードまたはユーザーIDとパスワード］、［認証カードまたはID番号］を選択する場合
*2　：プリンターのスタンドアロン機能を認証しないで使用する場合
*3　：クラウドディレクトリーサービスとの連携を使用する場合
*4　：Microsoft Entra ID認証を使用する場合
*5　：LDAPサーバー認証を使用する場合
*6　：通知メール機能を使用する場合
*7　：［スキャン to マイメール 機能］を使用する場合
*8　：［スキャン to マイフォルダー機能］を使用する場合
*9　：［どこでも印刷機能］を使用する場合
*10　：［ページ数管理］を使用する場合

個別セットアップの流れ

プリンターにEpson Print Admin Serverlessを1台ずつセットアップする流れを説明します。Web Configを使うとブラウザーだけでセットアップできます。

！重要　設定を始める前にプリンターの時刻設定が正しいか確認してください。
時刻設定が正しくないと「ライセンスが期限切れです」というエラーメッセージが表示され、Epson Print Admin Serverlessのセットアップができなくなります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config：［デバイス管理］タブ - ［日付/時刻］ - ［日付/時刻］
- プリンターの操作パネル：［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［日付/時刻設定］

手順		作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	プリンターへの認証装置の接続/動作確認	認証装置をプリンターに接続します。
2	日付/時刻設定	日付と時刻の設定	正しい日付と時刻をプリンターに設定します。
3	ライセンスキーの登録*2	ライセンスキーの入力	Web Configを使って、プリンターのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。

手順		作業概要	内容
4	Epson Print Admin Serverlessを設定する	認証印刷の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		印刷ジョブ設定	印刷ジョブの保存や削除に関する設定をします。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 • 外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の連携設定 • ファイルからのインポート
		任意機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置やメールサーバー、スキャンtoマイフォルダー機能など、任意で使用する機能を設定します。
5	クライアントコンピューターの設定	プリンタードライバーのインストール、ユーザーIDの登録	クライアントコンピューターにインストールしたプリンタードライバーに、認証で使用するユーザーIDを設定します。

*1　：認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。
*2　：販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

➡ 「Web Configを使った個別設定」30ページ
➡ 「クライアントコンピューターの設定」92ページ

一括セットアップの流れ

複数のプリンターにEpson Print Admin Serverlessをセットアップする流れを説明します。Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと効率よくセットアップできます。

！重要　設定を始める前にプリンターの時刻設定が正しいか確認してください。
時刻設定が正しくないとログやレポートの記録時刻が不正確になり、不正使用や情報漏えいなどの追跡が困難になります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config：［デバイス管理］タブ - ［日付/時刻］ - ［日付/時刻］
- プリンターの操作パネル：［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［日付/時刻設定］

手順		作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	ケーブル接続/動作確認	認証装置をプリンターに接続します。
2	日付/時刻設定	日付と時刻の設定	正しい日付と時刻をプリンターに設定します。

手順		作業概要	内容
3	ライセンスキーの登録*2	設定テンプレートの新規作成	設定テンプレートを使って、複数のプリンターのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。
		ライセンスキーのインポート	
		設定テンプレートの適用	
4	Epson Print Admin Serverlessの設定	設定テンプレートの編集、または新規作成	設定テンプレートを編集または新規作成します。
		認証印刷の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		印刷ジョブ設定	印刷ジョブの保存や削除に関する設定をします。
		任意機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置やメールサーバー、スキャンtoマイフォルダー機能など、任意で使用する機能を設定します。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 • 外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の連携設定 • ファイルやLDAPサーバーからのインポート
		設定テンプレートの適用	設定テンプレートをプリンターに適用します。
5	クライアントコンピューターの設定	プリンタードライバーのインストール、ユーザーIDの登録	クライアントコンピューターにインストールしたプリンタードライバーに、認証で使用するユーザーIDを設定します。

*1　：認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。
*2　：販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」59ページ
➡ 「クライアントコンピューターの設定」92ページ

アプリケーションの機能差

それぞれのアプリケーションソフトで設定できる項目です。（○＝設定可、×＝設定不可）
プロダクトキー/ライセンスキー

項目	Web Config	Epson Device Admin
Epson Open Platformバージョン	○	○
プロダクトキー/ライセンスキー	○	○

認証設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
認証方式	○	○
外部認証	○	○
認証手段	○	○
テナント ID	○	○
ユーザーによるカード登録を許可する	○	○
ID番号の最小桁数	○	○
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	○	○
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	○	○
送信元アドレス	○	○

印刷ジョブ

項目	Web Config	Epson Device Admin
有効期間 (0-720 時間)	○	○
印刷後ジョブの保持状態の変更	○	○
印刷ジョブを選択状態で表示する	○	○
履歴に記録するユーザー名	○	○
プリンターに蓄積せずに印刷	○	○
ログオン後の自動印刷	○	○
印刷ジョブの全削除	○	×
保持されているジョブを削除	○	×

ユーザー設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザーID	○	○
ユーザー表示名	○	○
パスワード	○	○
認証カードID	○	○
ID番号	○	○
部門	○	○

項目	Web Config	Epson Device Admin
メールアドレス	○	○
機能制限	○	○
ログオン後の自動印刷	○	○
お気に入り	○	○
ページ数管理	○	○

利用者制限設定

項目		Web Config	Epson Device Admin
利用者制限を有効にする		○	○
コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する		○	○
登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する		○	×
ログオフ時にパネルからの使用を許可する。			
	コピー	○	○
	スキャン	○	○
	ファクス	○	○
	メモリー印刷	○	○
	ボックス	○	○
	クラウドストレージ（アップロード）	○	○
	モノクロ/カラー印刷制限(コピー、ファクス、外部メモリーから印刷)	○	○

認証装置

項目	Web Config	Epson Device Admin
Vendor ID	○	○
Product ID	○	○
動作パラメーター	○	○
認証装置	○	○
認証カードID保存フォーマット	○	○
認証カードIDの読み取り設定をする	○	○

項目		Web Config	Epson Device Admin
	開始文字位置	○	○
	文字数	○	○

ユーザーデフォルト設定 （スキャン to マイフォルダー機能）

項目	Web Config	Epson Device Admin
種別	○	○
保存先	○	○
ユーザー名	○	○
パスワード	○	○

Microsoft 365 > サインイン

項目	Web Config	Epson Device Admin
Microsoft アカウントでサインイン	○	×

Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定（アドレス帳）

項目		Web Config	Epson Device Admin
Microsoftから検索		○	○
組織の連絡先			
	検索件数上限数（5-500）	○	○
	ユーザー名属性	○	○
	ユーザー表示名属性	○	○
	ファクス番号属性	○	○
	メールアドレス属性	○	○
個人用連絡先			
	検索件数上限数（5-500）	○	○
	ユーザー名属性	○	○
	ユーザー表示名属性	○	○
	ファクス番号属性	○	○
	メールアドレス属性	○	○

Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定（Epson Print Admin Serverless）

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザーID属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
認証カードID属性	○	○
ID番号属性	○	○
部門属性	○	○
メールアドレス属性	○	○

LDAPサーバー > 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)

項目	Web Config	Epson Device Admin
検索開始位置(DN)	○	○
ユーザーID属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
認証カードID属性	○	○
ID番号属性	○	○
部門属性	○	○
メールアドレス属性	○	○
保存先属性	○	○

スキャン to ネットワークフォルダー 機能

項目	Web Config	Epson Device Admin
宛先の直接入力を禁止する	○	○

スキャン to マイフォルダー機能

項目	Web Config	Epson Device Admin
保存先設定	○	○
種別	○	○
保存先	○	○
ユーザー名	○	○
パスワード	○	○

ホーム画面編集

項目	Web Config	Epson Device Admin
有効/無効	○	○
1ページあたりの最大表示数	○	○
ページ数	○	○
機能割り当て	○	○

どこでも印刷機能

項目	Web Config	Epson Device Admin
どこでも印刷機能	○	○

ページ数管理

項目	Web Config	Epson Device Admin
ページ数管理	○	○
残高不足時動作	○	○
ログイン後ページ	○	○
更新スケジュール設定	○	○
一括枚数設定	○	○

レポート

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザー単位の利用レポート	×	○
部門単位の利用レポート*1	×	○
ジョブ履歴	×	○

*1 ：認証方式で［みなし認証］を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

関連情報

➡ 「Web Configを使った個別設定」30ページ
➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」59ページ

認証装置の接続

ユーザー認証用の装置を接続して設定します。認証装置を使わない場合は必要ありません。

参考　ICカードリーダー以外の認証装置の対応状況は販売店にお問合せください。

認証装置を接続する

認証装置の接続については、販売店にお問合せください。

認証装置の接続確認

認証装置の接続状態や認証カードの認識状態は以下で確認できます。

- 操作パネル
  ［設定］ - ［認証システム］ - ［認証装置ステータス］を選択すると状態が表示されます。
- Web Config
  ［情報確認］タブ - ［製品情報］にある［認証装置ステータス］に状態が表示されます。

設定できる認証情報の読み取り方法

認証装置からの読み取りには、以下の方法が指定できます。
Web ConfigまたはEpson Device Adminを使ってプリンターに設定します。
設定は以下のような場合に必要です。

- 社員番号や個人IDなど、カード内の特定の情報を読み出す
- UID（製造番号などカードのID情報）以外のカード情報を使用する
  動作パラメーター生成など読み取り設定は専用ツールで生成できます。詳しくは販売店にお尋ねください。
- 認証方式で「みなし認証」を使う

認証装置設定項目

項目	説明
Vendor ID	使用を限定する認証装置のVendor IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。
Product ID	使用を限定する認証装置のProduct IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。

項目		説明
動作パラメーター		認証装置の動作パラメーターを0～8192文字以内で設定します。 A～Z、 a～z、 0～9、+、/、 =、半角スペース、改行が使用できます。
Epson Print Admin Serverless	認証装置	認証装置の変換フォーマットを選択します。
	認証カードID保存フォーマット	IDカードにある認証情報の変換フォーマットを選択します。
	認証カードIDの読み取り設定をする	読み取り位置の指定を有効にします。
	開始文字位置	ID情報の読み取り開始文字の位置を指定します。1～4096まで指定できます。
	文字数	ID情報の読み取り開始位置から何文字分まで読み取るかを指定します。 1～4096まで指定できます。

認証装置、認証カード保存フォーマット設定項目

形式	説明
フォーマット 1 (デフォルト)	バイナリー値を16 進数として出力
フォーマット2	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16 進数として出力
フォーマット3	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16 進数として出力
フォーマット4	バイナリー値を10 進数として出力
フォーマット5	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10 進数として出力
フォーマット6	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10 進数として出力
フォーマット7	バイナリー値を16 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット8	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット9	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット10	バイナリー値を10 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット11	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット12	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10 進数のASCII 文字列として出力
フォーマット13	バイナリー値をASCII 文字列として出力

関連情報

➡ 「認証装置を設定する（Web Config）」52ページ
➡ 「認証装置を設定する（設定テンプレート）」64ページ

情報の登録とシステム設定

Epson Print Admin Serverlessの導入に必要な項目を設定します。
個別に設定する場合はWeb Configを使います。Epson Device Adminを使うと複数のプリンターを一度に設定できます。

関連情報

- 「Web Configでライセンスキーを登録する」24ページ
- 「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する」25ページ
- 「Web Configを使った個別設定」30ページ
- 「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」59ページ

ライセンスキーの取得について

Epson Print Admin Serverlessを使用するにはライセンスキーの取得が必要です。
ライセンスキーの種類や取得方法などの詳細は販売店にお問い合わせください。

ライセンスキーの登録

ライセンスキーをプリンターに登録してEpson Print Admin Serverlessを有効にします。

参考　ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。その場合はEpson Print Admin Serverlessの設定へ進んでください。

Web Configでライセンスキーを登録する

個別に設定する場合はWeb Configを使います。

1. 以下のいずれかの方法でプリンターとセットアップ用コンピューターを接続します。
   - 有線または無線 LAN で接続
     有線または無線 LAN で接続する場合は、セットアップ用コンピューターと同じネットワークに接続してください。
   - LAN ケーブルで直接接続
2. プリンターの電源を入れます。
3. セットアップ用コンピューターでウェブブラウザーを開き、"https://<epsondevice-IP>"と入力してプリンターのWeb Configを開きます。
   IPアドレスが192.168.111.10の場合：https://192.168.111.10
   IP アドレスは操作パネルから確認できます。

詳しくはプリンターのマニュアルをご覧ください。

参考 SSL 通信（https）で管理者ログオンページにアクセスすると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」の警告ページが表示されることがあります。
これはWeb サイトで自己署名証明書を利用していてブラウザーがSSL 暗号化通信を行おうとしているために起こります。「このサイトの閲覧を続行する（奨励されません）。」をクリックしてください。このエラーを表示しないためには、信頼された証明書を使用してください。

4. ［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］の順に選択します。

5. ［プロダクトキー/ライセンスキー］にライセンスキーを入力します。

6. ［次へ］をクリックします。

7. ［設定］をクリックします。

少し時間を置いてから［メニューを更新］をクリックしてWeb Configの表示を更新します。
ライセンス情報が表示されていれば［Epson Print Admin Serverless］は有効です。

Epson Device Adminでライセンスキーを登録する

Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと、CSVファイルに記載した複数のライセンスキーを複数のプリンターに一度に適用できます。

1. 設定テンプレートを新規作成します。

2. 設定テンプレートにライセンスキーを読み込みます。

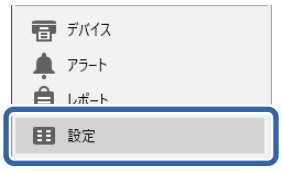
3. 設定テンプレートを目的のプリンターに適用します。

設定テンプレートを新規作成する

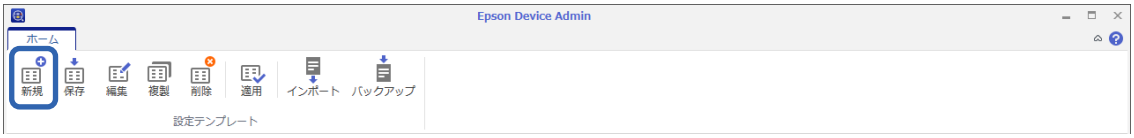
設定テンプレートを新規で作成します。

1. Epson Device Adminを起動します。

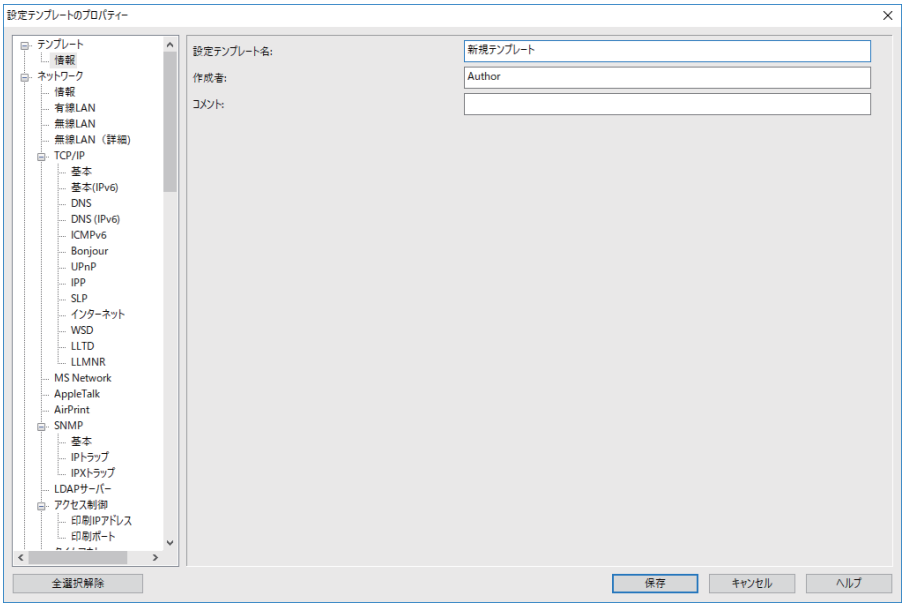
2. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。



3. リボンメニューで［新規］を選択します。



4. 各項目を設定します。



項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから設定したい機能を選択します。

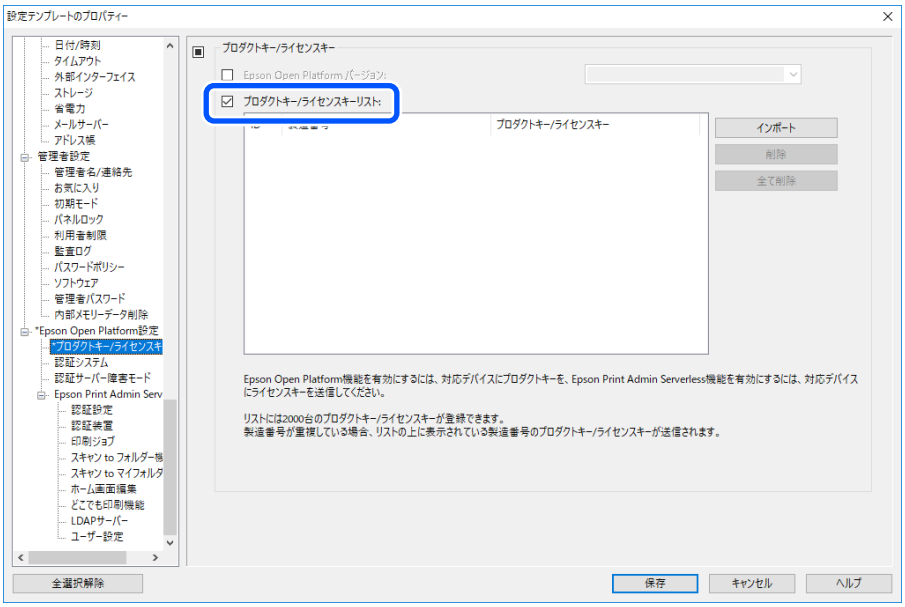
参考　左のメニュー項目をクリックするとそれぞれの画面に切り替わります。設定した値は、キャンセルしなければ画面を切り替えても保持されます。全ての項目の設定が終了してから［保存］をクリックしてください。

ライセンスキーをインポートする

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］を選択します。

2. ［プロダクトキー/ライセンスキーリスト］にチェックを付けます。

［Epson Open Platform バージョン］にチェックが付いている場合は外します。



3. ［インポート］をクリックします。

4. ライセンスキーのCSVファイルを指定し、［開く］をクリックします。

ファイルが読み込まれ、内容が表示されます。

参考
- リストからプリンターを選択して［削除］をクリックすると、リストからライセンスキーを削除できます。
- ［インポート］を再度クリックして、別のCSVファイルを追加できます。

5. ［保存］をクリックします。

6. ［OK］をクリックします。

7. 保存完了メッセージ画面で［OK］をクリックします。

テンプレートが保存され、画面が閉じます。

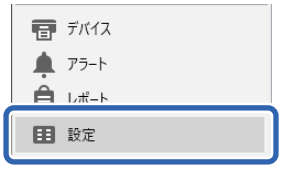
参考 設定テンプレートを再度開くには、［設定テンプレート名］から保存した設定テンプレートを選択し、リボンメニューから［編集］をクリックしてください。

設定テンプレートを適用する

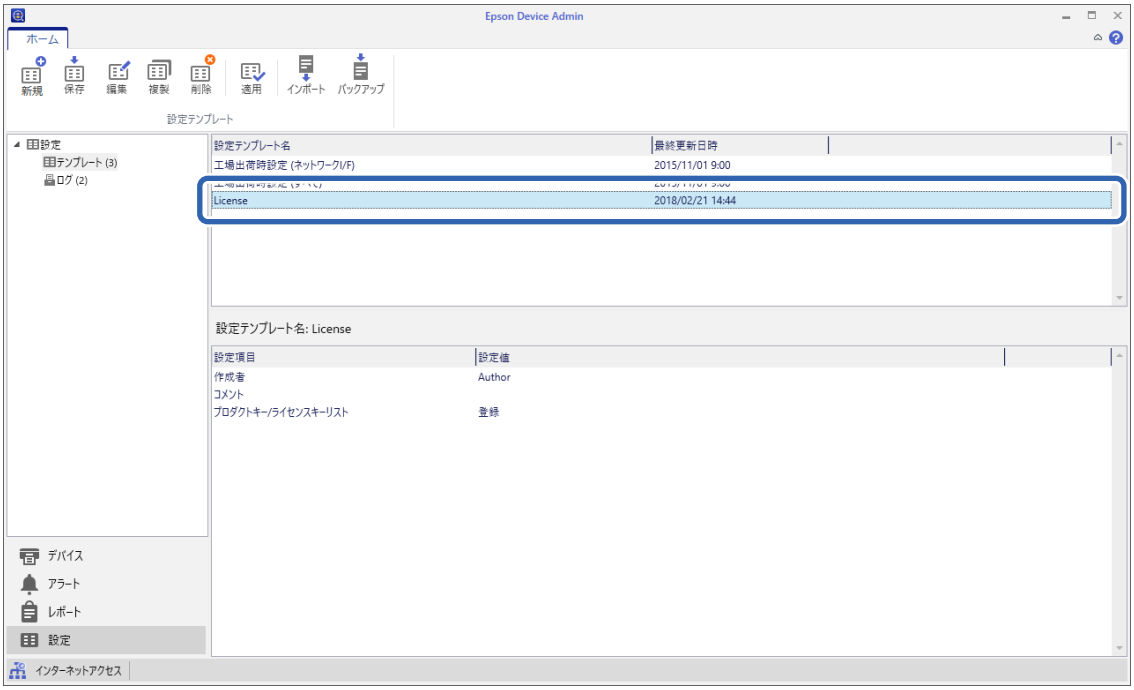
保存した設定テンプレートをプリンターに適用します。設定テンプレートのチェックのある項目が適用されます。対象プリンターに該当する機能がない場合は適用されません。
Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していない場合は、この操作をする前にパスワードを登録してください。

「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」12ページ

1. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。



2. ［設定テンプレート名］から適用する設定テンプレートを選択します。



3. リボンメニューで［適用］をクリックします。

デバイス選択画面が表示されます。

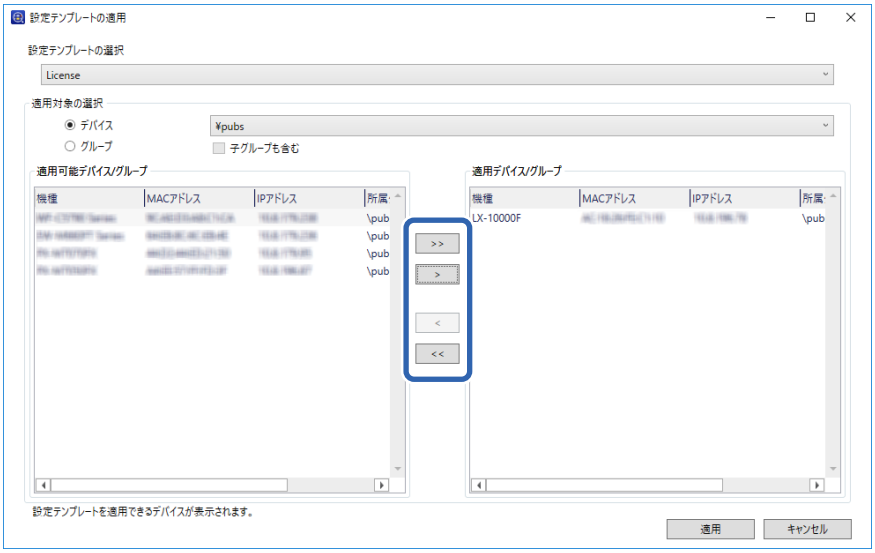
4. 設定テンプレートを適用する対象を選択します。

参考

- ［デバイス］を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
- ［グループ］を選択すると、グループが表示されます。［子グループも含む］にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

5. 適用するプリンターまたはグループを［>］、［>>］、［<］、［<<］を使って［適用デバイス/グループ］へ移動します。

［>］は選択したプリンターまたはグループ、［>>］は全てのプリンターまたはグループを移動できます。複数のプリンターやグループを選択するときは、［Ctrl］または［Shift］を押したままクリックして選択してください。



6. ［適用］をクリックします。

設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［結果の詳細］をクリックして、適用内容を確認します。

適用した項目で が表示されていれば、適用は成功です。

9. ［閉じる］をクリックします。

関連情報

➡ 「Epson Device Admin」11ページ

Web Configを使った個別設定

Epson Print Admin Serverlessを個別に設定する方法を説明します。
認証方式によってEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定を行ってください。詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「認証方式による必要な設定」13ページ

Epson Print Admin Serverless設定メニューを使う

ライセンスキーを登録すると［Epson Open Platform］タブに［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］が表示されます。この一覧に添ってEpson Print Admin Serverlessを使用するための設定を行います。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］を選択します。
   ［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［認証方式］で選択した認証方式に従って設定項目が表示されます。

2. 設定する項目のリンクをクリックします。

3. 各項目を設定します。

4. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］をクリックします。

   ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］に戻ります。

ユーザー認証設定をする（Web Config）

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > 認証設定］をクリックします。

   または［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

認証設定の設定項目

項目	説明
認証方式	認証方式を選択します。 **！重要** どこでも印刷機能を使用する場合、連携するプリンターの認証方式やユーザー設定、印刷ジョブの有効期間など、Epson Print Admin Serverlessの設定は全て同じにしてください。 • 本体認証 プリンターの本体に登録されたユーザー情報を使って認証します。プリンター本体にユーザー情報の登録が必要です。 • 外部認証 連携している外部認証のユーザー情報を使って認証します。利用する外部認証に応じて、LDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • 本体認証と外部認証 プリンター本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。プリンターにユーザー情報の登録と、利用する外部認証に応じてLDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • みなし認証 あらかじめプリンターに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。ユーザー情報の登録は必要ありません。
外部認証	ユーザー認証時に使用する外部認証の種類を選択します。 • Microsoft Entra ID 認証 連携しているMicrosoft Entra IDに登録されているユーザー情報を使って認証します。Microsoft Entra ID認証を使用するには、Microsoft 365との連携とMicrosoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。Microsoft Entra ID認証を使用するには、インターネットへの接続が必要です。 • LDAPサーバー認証 連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。LDAPサーバー設定が必要です。

項目	説明
認証手段	認証手段を選択します。 • 認証カードまたはユーザーIDとパスワード ユーザー認証にIDカードを使用します。ユーザーIDとパスワードによる認証も使用できます。 ［認証方式］で［みなし認証］を選択していると［認証カード］に固定されます。 • ユーザーIDとパスワード ユーザー認証にユーザーIDとパスワードを使用します。 IDカードによる認証は使用できません。 • ユーザーID ユーザー認証にユーザーIDのみを使用します。パスワードの設定は必要ありません。 • 認証カードまたはID番号 ユーザー認証にIDカードを使用します。ID番号も使用できます。 • ID番号 ユーザー認証にID番号のみを使用します。
テナント ID	Microsoft Entra IDにアクセスするためのテナントIDを入力します。Microsoft Entra ID認証を使用する場合に入力が必要です。また、プリンターの操作パネルの［個人のクラウドストレージ］や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の［個人用連絡先］を選択して、その機能を利用するときにも入力が必要です。 参考 テナントIDの確認方法は以下を参照してください。 「Microsoft Entraのテナント IDを確認する」33ページ
ユーザーによるカード登録を許可する	許可すると、認証カードの登録をユーザーが行えます。 以下の認証方法を選択していると設定できません。 • ［認証方式］で［外部認証］を選択し、［外部認証］で［LDAPサーバー認証］を選択している場合 • ［認証方式］で［みなし認証］を選択している場合
ID番号の最小桁数	ID番号の最小桁数を選択します。
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザー情報のキャッシュを使用するかしないか設定できます。［外部認証］が［LDAPサーバー認証］のときに設定できます。 ［しない］を選択すると、プリンターの操作パネルの［個人のクラウドストレージ］や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の［個人用連絡先］を選択して、その機能を利用するときに、Microsoftアカウントでサインインする画面が毎回表示されます。
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	認証手段にユーザーIDとパスワードを利用している場合、ユーザー情報をSMTP認証に利用するかしないか設定できます。最後にログオンしたユーザーIDとパスワードがSMTP認証に使用されます。
送信元アドレス	スキャン to メール 機能やスキャン to マイメール 機能を使用するときの送信元のメールアドレスを選択します。 • ユーザーのメールアドレス プリンターにログオンしているユーザーのメールアドレスを使用します。ユーザーのメールアドレスが設定されていないときは、プリンターに設定されている送信元メールアドレスを使用します。 • 製品のメールアドレス プリンターに設定されている送信元メールアドレスを使用します。

！重要 **LDAPサーバー認証を使用する場合のご注意：**
増設ネットワークインターフェイスボードを使用している場合は、LDAPサーバー認証に使用するネットワークインターフェイスを設定してください。LDAPサーバーは標準のネットワークインターフェイスまたは増設したネットワークインターフェイスのどちらかのみで使用できます。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［LDAPサーバー］

関連情報

➡ 「認証方式の概要」7ページ

Microsoft Entraのテナント IDを確認する

Microsoft Entra管理センターにアクセスして、テナント IDを確認します。
以下の手順を参考に確認してください。

参考 Microsoft Entra管理センターのWebサイトの内容は変更されることがあります。

1. 組織アカウントを使ってMicrosoft Entra管理センター（https://entra.microsoft.com）にアクセスします。
   グローバル管理者のロール権限を持っているアカウントでアクセスしてください。

2. ［ID］-［概要］-［プロパティ］を選択します。

3. ［テナント ID］セクションまで下にスクロールして、表示されているテナント IDを確認します。

印刷ジョブを設定する（Web Config）

クライアントコンピューターから送信された印刷ジョブに関する設定をします。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > 印刷ジョブ］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ -［印刷ジョブ］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷ジョブを削除する」108ページ

印刷ジョブ設定項目

項目	説明
有効期間 (0-720 時間)	保持していない印刷ジョブを自動削除するまでの時間を設定します。「0」を指定すると印刷ジョブは自動的に削除されません。
印刷後ジョブの保持状態の変更	ユーザーに印刷ジョブの保持を許可します。
印刷ジョブを選択状態で表示する	ユーザーがプリンターにログインしたときの印刷ジョブの選択状態を設定します。

項目	説明
履歴に記録するユーザー名	Epson Device Adminで出力するジョブ履歴のレポートの［印刷：ユーザー名］に記録される名称を選択できます。 • ログオン名： Epson Print Admin Serverlessにログオンしたユーザー名が記録されます。 • コンピューター名： Epson Print Admin Serverlessに印刷ジョブを送信したコンピューター名が記録されます。
プリンターに蓄積せずに印刷	コンピューターからの印刷時、印刷ジョブをプリンター本体に蓄積しないで印刷することを許可します。許可すると、印刷ジョブの認証情報が本体や外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の認証情報と一致した場合に、ユーザーがプリンターにログオンすることなく直接印刷されます。 ユーザーはプリンタードライバーで蓄積する、しないを設定します。
ログオン後の自動印刷	外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）で認証されたユーザーがプリンターにログオンしたとき、印刷を自動で開始するかどうか設定します。

ユーザー情報の登録（Web Config）

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。
［認証方式］で［外部認証］や［みなし認証］を選択した場合、ユーザー情報の登録は不要です。その場合、メニュー項目から［ユーザー設定］が非表示になります。
［認証方式］で［本体認証と外部認証］を選択した場合は、外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の設定もしてください。

ユーザー情報を個別に登録する

ユーザー情報を 1 件ずつ入力します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > ユーザー設定］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ - ［ユーザー設定］を選択します。

2. ［登録］をクリックします。

3. 各項目を設定します。

4. ［適用］をクリックします。

5. ［閉じる］をクリックします。

ユーザー情報の設定項目

項目	説明
ユーザーID	認証に使用するユーザーIDを、Unicodeで表せる1～83バイトで設定します。 大文字、小文字を区別しませんので、どちらでもログオンできます。
ユーザー表示名	プリンターのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicodeで表せる32文字以内で設定します。空欄にもできます。
パスワード	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。大文字、小文字を区別します。 ［認証手段］を［ユーザーID］にした場合は空欄にします。
認証カードID	IDカードの読み取り結果を設定します。［認証設定］で［ユーザーによるカード登録を許可する］を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。 ASCII文字を使用して116文字で入力します。空欄にもできます。
ID番号	［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［認証手段］で［認証カードまたはID番号］や［ID番号］が選択されている場合に表示されます。 ［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［ID番号の最小桁数］で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。
自動生成	［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［認証手段］で［認証カードまたはID番号］や［ID番号］が選択されている場合に表示されます。 クリックすると［ID番号の最小桁数］で選択した桁数のID番号が自動生成されます。
部門	ユーザーを識別する部門名などを任意で入力します。 空欄にもできます。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを設定します。スキャン to マイメール 機能の宛先に使用します。 空欄にもできます。
機能制限	ユーザーごとに機能制限を設定できます。［以下の機能の使用を許可する。］で許可する機能にチェックを付けます。
モノクロ/カラー印刷制限	ユーザーごとにカラー印刷を制限できます。プルダウンメニューから許可する印刷を選択します。
ログオン後の自動印刷	ユーザーがプリンターにログオンしたとき印刷を自動で開始するかどうか設定します。
お気に入り	設定しているユーザーだけが利用できるお気に入りを指定できます。
ページ数管理	ユーザーごとにページ数管理を設定できます。 ［Epson Open Platform］タブ - ［ページ数管理］ - ［ページ数管理］で［有効］が選択されている場合に表示されます。 • 無効 選択したユーザーのページ数管理は行いません。 • 個別設定 ［個別設定］の設定に従って、選択したユーザーのページ数管理を行います。 印刷可能なページ数を更新するスケジュールは、［Epson Open Platform］タブ - ［ページ数管理］ - ［更新スケジュール設定］の設定に従います。 • 共通設定 ［Epson Open Platform］タブ - ［ページ数管理］ - ［ページ数管理］の設定に従ってページ数管理を行います。

ページ数管理

項目			説明
ページ数確認			選択したユーザーの印刷可能なページ数を確認できます。 この項目は［Epson Open Platform］ タブ - ［ユーザー設定］で［編集］をクリックして、ユーザー設定の編集画面を開いたときに表示されます。
	カラー	有効/無効	カラー印刷のページ数管理の有効/無効が表示されます。
		最大ページ数	カラー印刷可能なページ数が表示されます。
	モノクロ	有効/無効	モノクロ印刷のページ数管理の有効/無効が表示されます。
		最大ページ数	モノクロ印刷可能なページ数が表示されます。
個別設定			選択したユーザーの印刷可能なページ数を定期的に更新するための設定を行います。 ［ページ数管理］で［個別設定］が選択されているときに設定できます。
	カラー	有効/無効	［有効］を選択すると、カラー印刷可能なページ数は［最大ページ数］で設定したページ数で定期的に更新されます。
		最大ページ数	定期的に更新するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。
	モノクロ	有効/無効	［有効］を選択すると、モノクロ印刷可能なページ数は［最大ページ数］で設定したページ数で定期的に更新されます。
		最大ページ数	定期的に更新するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。
追加ページ数			選択したユーザーに印刷可能なページ数を追加します。 ［ページ数管理］で［無効］以外が選択されているときに設定できます。 この項目は［Epson Open Platform］ タブ - ［ユーザー設定］で［編集］をクリックして、ユーザー設定の編集画面を開いたときに表示されます。
	カラー	有効/無効	［有効］を選択すると、［最大ページ数］で設定したページ数をカラー印刷可能なページ数に追加します。
		最大ページ数	追加するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、カラー印刷可能なページ数を削減できます。
	モノクロ	有効/無効	［有効］を選択すると、［最大ページ数］で設定したページ数をモノクロ印刷可能なページ数に追加します。
		最大ページ数	追加するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、モノクロ印刷可能なページ数を削減できます。

関連情報

➡ 「ページ数管理を設定する（Web Config）」56ページ

ユーザーごとのお気に入りを設定する

プリンターに登録されているお気に入りから、選択したユーザーだけが利用できるお気に入りを5件まで設定できます。

参考 Epson Device Adminの場合は、お気に入りの登録の番号を入力することで設定できます。ただし登録の番号が変更された場合は、番号だけを引継いで内容は更新されません。

1. お気に入りを設定したいユーザーを開きます。

2. ［お気に入り］ - ［選択］をクリックします。

   プリンターに登録されているお気に入りの一覧が表示されます。

3. 登録したいお気に入りのチェックボックスにチェックを入れます。

   参考 ［編集］をクリックすると、プリンターのお気に入り登録画面に移動します。

4. ［選択］をクリックします。

   ユーザー設定に戻ります。選択したお気に入りが表示されていることを確認してください。

   参考
   - 本体認証のユーザーが登録しているお気に入りはそのユーザーだけが使用できます。
   - 本体認証のユーザーが登録していないお気に入りは全てのユーザーが使用できます。ただし管理者が機能制限している機能は使用できません。

CSVファイルを使ってユーザー情報を一括で登録する

ユーザーの登録情報をCSV ファイルに記述して一括で登録します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless＞ユーザー設定］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ -［ユーザー設定］を選択します。

2. ［インポート］をクリックします。

3. ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択して、［開く］をクリックします。

4. ［インポート］をクリックします。

5. 表示された情報を確認し、［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「CSVファイルを作成する」37ページ

CSVファイルを作成する

ユーザー情報を取り込むためのCSVファイルを作成します。
CSVファイルは個別に登録したユーザー情報を元にするとファイル作成の手間が省けます。あらかじめ 1 件以上のユーザー情報を登録してください。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless-ユーザー設定］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ-［ユーザー設定］を選択します。

2. ［エクスポート］をクリックします。

3. ［ファイルのフォーマット］でエクスポートするファイル形式を選択します。
   以下を参照して選択してください。

項目	説明
CSV UTF-16 (タブ区切り)	Microsoft Excelでファイルを編集する場合に選択してください。 各列の値は”[]”で囲まれて出力されます。”[]”の間に値を入力してください。 ファイルを更新するときは上書きを奨励します。名前を付けて保存する場合はファイルの種類を”Unicode テキスト(*.txt)”を選択してください。
CSV UTF-8 (カンマ区切り)	テキストエディターでの編集やマクロでの自動編集など、Microsoft Excelを使わずに編集する場合に選択してください。
CSV UTF-8 (セミコロン区切り)	

4. ［エクスポート］をクリックします。

5. ファイルの保存場所を選択し、［保存］をクリックします。
   ファイルが保存されます。

6. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。

CSVファイルの設定項目

項目	設定値と説明
UserID	認証に使用するユーザーIDを、Unicodeで表せる1～83バイトで設定します。
UserName	プリンターのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicodeで表せる32文字以内で設定します。空欄にもできます。
Password	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。インポートするとき[EncPassword]より優先してパスワードとしてセットされます。 ［認証手段］を［ユーザーID］にした場合は空欄にします。 エクスポートするときは常に空欄になります。
AuthenticationCardID	IDカードの読み取り結果を設定します。［認証設定］で［ユーザーによるカード登録を許可する］を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。 ASCII文字を使用して116文字で入力します。空欄にもできます。

項目	設定値と説明
IDNumber	［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［認証手段］で［認証カードまたはID番号］や［ID番号］が選択されている場合に表示されます。 ［Epson Open Platform］タブ - ［認証設定］ - ［ID番号の最小桁数］で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。 ID番号の重複はできません。重複している場合、ファイルをインポートした際にエラー通知されます。空欄の場合は自動採番されます。
Department	ユーザーを識別する部門名などを任意で入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる40文字以内で入力します。空欄にもできます。
MailAddress	ユーザーのメールアドレスを設定します。［スキャン to マイメール 機能］の宛先に使用します。 A-Z、a-z、0-9、!#’%&’*+-./=?^_{}|~@が使用できます。200文字以内で入力します。 先頭文字に”,”（カンマ）は使用できません。空欄にもできます。
FolderProtocol	スキャン to マイフォルダー機能の種別を設定します。ネットワークフォルダー（SMB）：0、FTP：1
FolderPath	スキャン to マイフォルダー機能の保存先を設定します。
FolderUserName	スキャン to マイフォルダー機能のユーザー名を設定します。
FolderPassword	スキャン to マイフォルダー機能の保存先フォルダーの認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。 インポートするとき[EncFolderPassword]より優先してパスワードとしてセットされます。エクスポートのときは常に空欄になります。
FtpPassive	スキャン to マイフォルダー機能の［種別］で［FTP］を選択した場合、FTPサーバーへの接続モードを設定します。アクティブモード：0、パッシブモード：1
FtpPort	スキャン to マイフォルダー機能の［種別］で［FTP］を選択した場合、送信するポート番号を0～65535で入力します。
Copy	コピー機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
Scan	スキャン機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
Fax	ファクス機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
MemPrint	外部メモリーから印刷機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
ComPrint	コンピューターからの印刷機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
ColorPrint	カラー印刷の許可/禁止を設定します。許可：1、禁止：0
Box	ボックス機能の許可/禁止を設定します。許可：1、禁止：0
CloudStorageUpload	原稿をスキャンしてクラウドストレージに保存する機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
CloudStoragePrint	クラウドストレージのデータを印刷する機能（クラウドプリント機能）の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
PresetIndex	ユーザーに関連付けるお気に入りを設定します。お気に入りの登録番号をカンマ区切りで5件まで設定できます。

項目	設定値と説明
AutoPrint	ログオン後の自動印刷の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
ManagePageCount	ユーザーごとのページ数管理の方法を設定します。共通設定： 2、個別設定： 1、無効：0 • 共通設定：2 ［Epson Open Platform］タブ - ［ページ数管理］ - ［ページ数管理］の設定に従ってページ数管理を行います。 • 個別設定：1 ユーザーごとにページ数管理を設定します。 印刷可能なページ数を更新するスケジュールは、［Epson Open Platform］タブ - ［ページ数管理］ - ［更新スケジュール設定］の設定に従います。 • 無効：0 選択したユーザーのページ数管理は行いません。
ManageColorPage	カラー印刷可能なページ数を制限するかどうか設定します。制限する： 1、制限しない：0 この項目は［ManagePageCount］が1（個別設定）に設定されているときに有効になります。
ColorPage	定期的に更新するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。 この項目は［ManageColorPage］が1（制限する）に設定されているときに有効になります。
ColorPageRemain	追加するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、カラー印刷可能なページ数を削減できます。 この項目は［ManagePageCount］で2（共通設定）または1（個別設定）が設定されているときに有効になります。
ManageBWPage	モノクロ印刷可能なページ数を制限するかどうか設定します。制限する： 1、制限しない：0 この項目は［ManagePageCount］が1（個別設定）に設定されているときに有効になります。
BWPage	定期的に更新するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。 この項目は［ManageBWPage］が1（制限する）に設定されているときに有効になります。
BWPageRemain	追加するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、モノクロ印刷可能なページ数を削減できます。 この項目は［ManagePageCount］で2（共通設定）または1（個別設定）が設定されているときに有効になります。
EncPassword	ユーザー情報をエクスポートするとき[Password]に設定してある値が暗号化され、BASE64でエンコードされた値が出力されます。 インポートするときに[Password]に新たなパスワードを入力すると、この値が無視されます。 [Password]に何も入力しないと、この値が使われてエクスポート前のパスワードのままになります。

項目	設定値と説明
EncFolderPassword	エクスポートするとき[FolderPassword]に設定してある値が暗号化され、BASE64でエンコードされた値が出力されます。 インポートするときに[FolderPassword]に新たなパスワードを入力すると、この値が無視されます。 [FolderPassword]に何も入力しないと、この値が使われてエクスポート前のパスワードのままになります。

関連情報

➡ 「ページ数管理を設定する（Web Config）」56ページ
➡ 「CSV ファイル/ENE ファイルからインポートする」77ページ

クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定（Web Config）

Microsoft 365と連携するための設定（Web Config）

Microsoft 365との連携について

プリンター本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインして、プリンター本体をMicrosoft 365と連携させます。Microsoft 365を連携させるには、インターネットへの接続が必要です。
プリンター本体をMicrosoft 365と連携させると、以下の機能が使用できます。

- クラウドストレージへのスキャンデータ保存（組織の共有フォルダー）
  スキャンした結果を連携しているクラウドストレージ（OneDrive for Business、SharePoint Online、Microsoft Teams）にある組織の共有フォルダーに保存できます。
- Microsoft Entra IDとのアドレス帳連携（組織の連絡先）
  スキャン to メール 機能やファクス機能を使用する際、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」から宛先を検索して、メールアドレスやファクス番号を取得できます。
  「組織の連絡先」を使用するには、「組織の連絡先」の検索属性も設定する必要があります。
- Microsoft Entra IDによるユーザー認証
  既存のMicrosoft Entra IDのアカウントを連携させてユーザーを認証できます。新たにユーザーアカウントを用意する必要がありません。
  Microsoft Entra ID認証を使用するには、認証方法と外部認証を設定し、Microsoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。

関連情報

➡ 「プリンター本体からMicrosoftアカウントでサインインする（Web Config）」41ページ

プリンター本体からMicrosoftアカウントでサインインする（Web Config）

プリンター本体をMicrosoft 365と連携させるには、Web Configを使ってプリンター本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインします。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Microsoft 365 > サインイン］を選択します。

   または［ネットワーク］タブ -［Microsoft 365］-［サインイン］を選択します。

2. ［Microsoft アカウントでサインイン］をクリックします。

3. 認証ページのURLが表示されたら、認証コードをコピーしてから、URLをクリックします。

   別画面でサインイン画面が表示されます。

4. 画面の指示に従い、サインインします。

   グローバル管理者のロール権限を持っているアカウントの名前を入力してください。

5. Web Config画面で、［現在の状態］が［サインイン］と表示されればサインインしています。

Microsoft Entra IDのアドレス帳の検索属性の設定（Web Config）

Microsoft Entra IDのアドレス帳を使うと、「組織の連絡先」と「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。

関連情報

➡ 「「組織の連絡先」の検索属性を設定する（Web Config）」42ページ
➡ 「「個人用連絡先」の検索属性を設定する（Web Config）」43ページ

「組織の連絡先」の検索属性を設定する（Web Config）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。

1. ［ネットワーク］タブ -［Microsoft 365］-［Microsoft Entra ID検索設定（アドレス帳）］を選択します。

2. ［Microsoftから検索］から［有効］を選択します。

3. ［組織の連絡先］の各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「「組織の連絡先」の検索設定項目（Web Config）」43ページ

「組織の連絡先」の検索設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
ファクス番号属性	ファクス番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：faxNumber
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

「個人用連絡先」の検索属性を設定する（Web Config）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。「個人用連絡先」には、各ユーザーがMicrosoft Outlookなどで登録した個人用の連絡先が登録されています。

1. ［ネットワーク］タブ - ［Microsoft 365］ - ［Microsoft Entra ID検索設定（アドレス帳）］を選択します。

2. ［Microsoftから検索］から［有効］を選択します。

3. ［個人用連絡先］の各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「「個人用連絡先」の検索設定項目（Web Config）」44ページ

「個人用連絡先」の検索設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
ファクス番号属性	ファクス番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：faxNumber
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

Microsoft Entra ID認証の検索属性を設定する（Web Config）

連携しているMicrosoft Entra IDからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定（Epson Print Admin Serverless）］を選択します。

   または［ネットワーク］タブ -［Microsoft 365］-［Microsoft Entra ID検索設定（Epson Print Admin Serverless）］を選択します。

2. 各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Microsoft Entra ID認証の検索設定項目（Web Config）」45ページ

Microsoft Entra ID認証の検索設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：employeeId
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：employeeId
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：employeeId
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：department
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

LDAPサーバーとの連携（Web Config）

Web Configを使ってプリンター本体のLDAPサーバーの設定を行います。
［認証方式］で［外部認証］や［本体認証と外部認証］を選択し、［外部認証］で［LDAPサーバー認証］を選択した場合に設定してください。
設定項目の詳細は、Epson Device Adminの同じ項目をご覧ください。

関連情報

- 「LDAPサーバー設定項目」74ページ
- 「Kerberos 設定項目」75ページ
- 「LDAPサーバー認証の検索設定項目」76ページ

LDAPサーバーを設定する（Web Config）

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［LDAPサーバー > 基本 (プライマリーサーバー)］を選択します。
   または［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［基本 (プライマリーサーバー)］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

3. ［設定］をクリックします。

4. ［認証方式］で［Kerberos認証］を選択する場合は、［ネットワーク］タブ - ［Kerberos設定］からKerberos設定をして、［設定］をクリックします。
   Kerberos設定は10個まで登録できます。選択していない場合は、次の手順に進みます。

5. 必要に応じて［基本 (セカンダリーサーバー)］からLDAPのセカンダリーサーバーを設定し、［設定］をクリックします。
   設定項目はプライマリーサーバーと同じです。

6. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「LDAPサーバー設定項目」74ページ
➡ 「Kerberos 設定項目」75ページ

LDAPサーバーとの接続を確認する

［LDAPサーバー］ - ［検索設定］で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］ - ［LDAPサーバー > 接続確認 (プライマリーサーバー)］をクリックします。
   または［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［接続確認 (プライマリーサーバー)］を選択します。

2. ［確認開始］をクリックします。
   接続テストの結果が表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

検索属性を設定する

LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［LDAPサーバー > 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)］を選択します。
   または［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［検索設定 (Epson Print Admin Serverless)］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「LDAPサーバー認証の検索設定項目」76ページ

オプション機能の設定（Web Config）

必要に応じて設定してください。

利用者制限の設定

ユーザーに使用を許可する機能を設定します。

利用許可を設定する（Web Config）

登録ユーザーがEpson Print Admin Serverlessにログオンしたときに共通で使用する機能を設定します。

参考 Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、Web Configのユーザー設定でユーザーごとに利用者制限を設定できます。設定の詳細は関連情報をご覧ください。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［利用者制限設定 - ユーザー設定］を選択します。
   または［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］を選択します。

2. ［1］の行の［編集］をクリックします。

3. ［以下の機能の使用を許可する。］で許可する機能にチェックを付けます。

4. ［適用］をクリックします。

関連情報

➡ 「ユーザー情報の設定項目」35ページ

ドライバーやソフトウェアからの利用を許可する

コンピューターからスキャンやファクス送信、帳票印刷などを実行できるように利用許可を設定します。

参考 ファクスはファクス機能搭載機で使用できます。

ドライバーの利用許可を設定する（Web Config）

Epson Scan 2やPC-FAXなどから利用するためのアカウントを作成します。

参考　PC-FAXはファクス機能搭載機で使用できます。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［利用者制限設定 > ユーザー設定］を選択します。
   または［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］を選択します。
2. ［1］を除く登録されていない行で［登録］をクリックします。

   参考　［1］は認証システムなどのアプリケーションが使用します。

3. 任意の［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

   参考　ここで設定したユーザー名、パスワードがドライバーやソフトウェアの認証に使用されます。

4. ［以下の機能の使用を許可する。］でドライバーやソフトウェアに許可する機能にチェックを付けます。
5. ［適用］をクリックします。
6. Epson Scan 2やPC-FAXを使用するコンピューターに手順3で設定したユーザー名とパスワードを登録してください。

関連情報

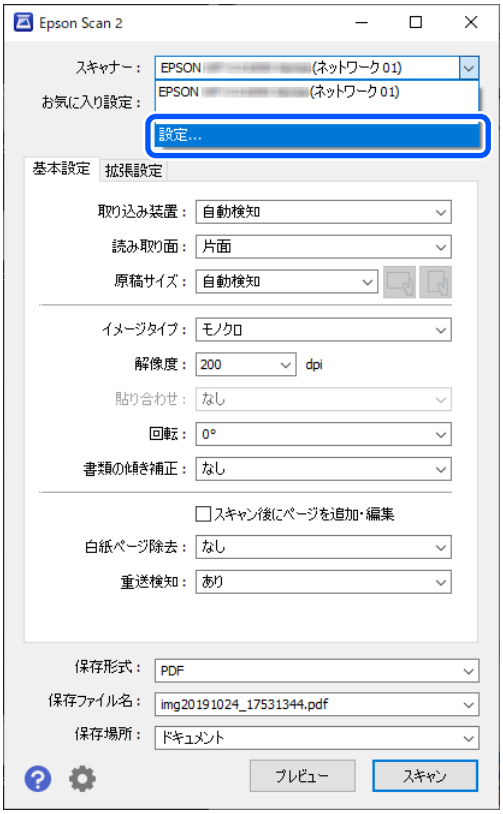
➡「コンピューターからスキャンする」48ページ
➡「PC-FAXでファクスを送受信する」50ページ

コンピューターからスキャンする

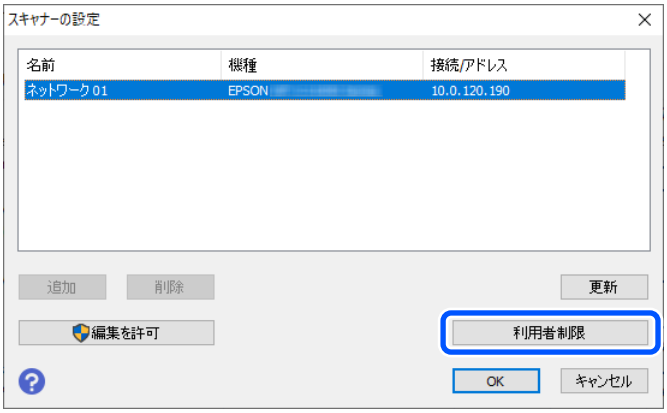
コンピューターからスキャンを行う場合はEpson Scan 2に利用者制限の情報を設定してください。

1. Epson Scan 2を起動します。

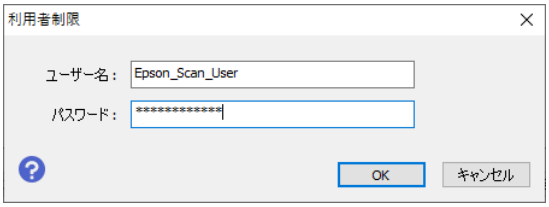
2. ［スキャナー］から［設定］を選択します。



3. 利用するスキャナーを選択して［利用者制限］をクリックします。



4. ［ユーザー名］と［パスワード］を設定し、［OK］をクリックします。



5. ［OK］をクリックします。

PC-FAXでファクスを送受信する

参考　ファクスやPC-FAXはファクス機能搭載機で使用できます。

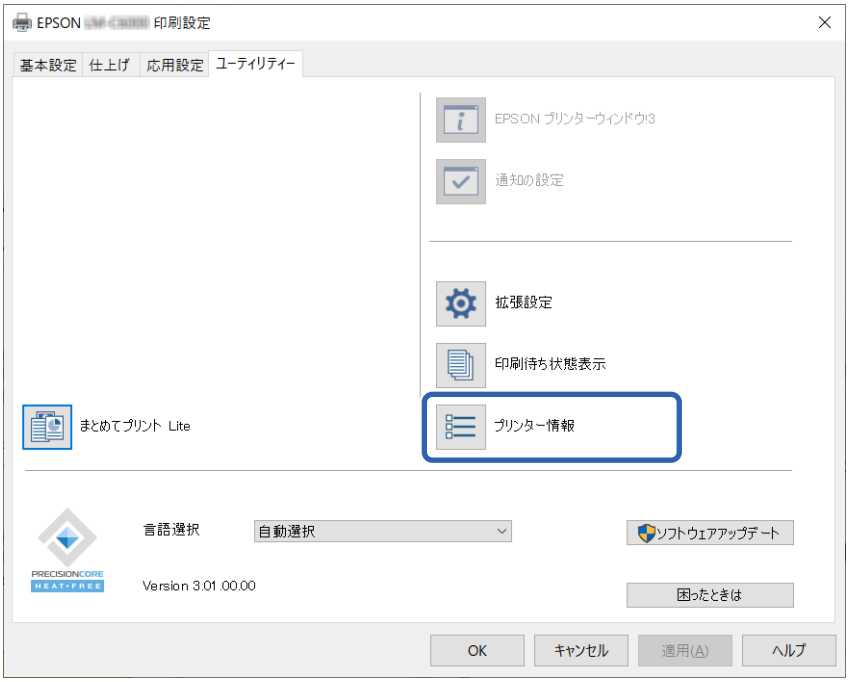
1. プリンタードライバーを再インストールします。

> **重要**　再インストールしたプリンタードライバーには、Epson Print Admin Serverlessの設定をしないでください。

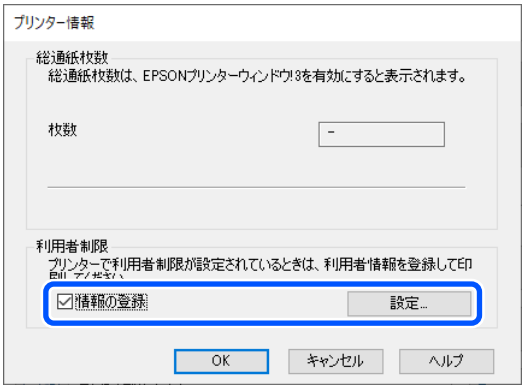
2. ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］ - ［デバイスとプリンター］を選択します。

3. 一覧からお使いのプリンターのキューで右クリックし、［印刷設定］を選択します。

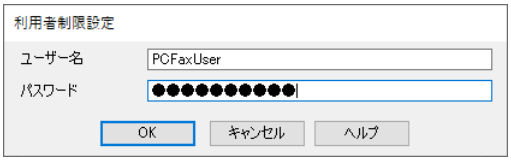
4. ［ユーティリティー］タブ - ［プリンター情報］をクリックします。



5. ［情報の登録］にチェックを付けて［設定］をクリックします。



6. ［ユーザー名］と［パスワード］を設定し、［OK］をクリックします。



7. ［OK］をクリックします。

認証情報のない印刷ジョブを許可する（Web Config）

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［利用者制限設定 > 基本］を選択します。

   または［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する］にチェックを付けます。

3. ［設定］をクリックします。

登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する（Web Config）

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［利用者制限設定 > 基本］を選択します。

   または［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する］にチェックを付けます。

3. ［設定］をクリックします。

認証しないで使用できる機能を設定する（Web Config）

ユーザーがログオフしているとき、任意のユーザーにプリンターのスタンドアロン機能（コピー、ファクス、スキャンなど）の使用を許可します。ログオン画面に許可した機能のアイコンが表示されます。

参考 ［ファクス］はファクス機能搭載機で表示されます。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［利用者制限設定 - 基本］を選択します。
   または［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］を選択します。
2. ［利用者制限を有効にする］にチェックが付いていることを確認します。
3. ［ログオフ時にパネルからの使用を許可する。］で許可する機能にチェックを付けます。
4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「認証しないで使用できる機能を設定する（設定テンプレート）」85ページ

認証装置を設定する（Web Config）

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［認証装置］を選択します。
   または［デバイス管理］タブ - ［認証装置］を選択します。
2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。
   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「設定できる認証情報の読み取り方法」22ページ

メールサーバーの設定（Web Config）

プリンターがメールを送信する機能を使用する場合に設定してください。

- スキャン to マイメール 機能
  プリンターにログオンしたユーザーのメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。メール設定とスキャン設定は、Web Configの［スキャン/コピー］ - ［ユーザーデフォルト設定］ - ［スキャン to メール 機能］でできます。
- メール通知
  用紙切れなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。

設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ 「ユーザー情報の登録（Web Config）」34ページ
➡ 「メール通知の概要」108ページ

スキャン to マイフォルダー機能を設定する（Web Config）

スキャン to マイフォルダー機能で使用するEpson Print Admin Serverless機能の設定をします。スキャン to マイフォルダー機能は、以下の保存先を設定できます。

保存先	対象	認証方式（外部認証）	保存先パスの設定
個別フォルダー	ユーザーごと（本体認証ユーザー）	本体認証、本体認証と外部認証（Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証）	アドレス帳
個別フォルダー	ユーザーごと（LDAP認証ユーザー）	外部認証（LDAPサーバー認証）、本体認証と外部認証（LDAPサーバー認証）	LDAP属性
共有フォルダー*	全ユーザー	本体認証、外部認証（Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証）、本体認証と外部認証（Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証）	本体（スキャン to マイフォルダー機能設定）

*　：指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されます。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless＞スキャン to ネットワークフォルダー 機能］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ -［Epson Print Admin Serverless］-［スキャン to ネットワークフォルダー 機能］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

スキャン to マイフォルダー機能 設定項目（Web Config）

項目		説明
保存先設定	設定方法	• ［一括で設定する］ ［保存先］に指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されてスキャン結果が保存されます。 • ［個別に設定する］： ユーザーごとにスキャン結果の保存先を設定できます。 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーはLDAPサーバーの検索属性で保存先を設定できます。
	種別	送信プロトコルを選択します。 スキャンの出力先がネットワークフォルダーの場合、[ネットワークフォルダー (SMB)］を選択します。 FTP サーバーの場合は［FTP］を選択します。
	保存先	［種別］で［ネットワークフォルダー (SMB)］を選択した場合、スキャンデータの出力先のパスを設定します。 ［種別］で［FTP］を選択した場合、スキャンデータの出力先のURLを設定します。 Unicode（UTF-8）で表せる160文字以内で入力します。
	接続モード	［種別］で［FTP］を選択した場合に設定します。 FTP サーバーへの接続モードを選択します。
	ポート番号	［種別］で［FTP］を選択した場合に設定します。 FTP サーバーにスキャンデータを送信するポートの番号を0～65535の間で入力します。
認証設定	設定方法	［保存先設定］の［設定方法］で［個別に設定する］を選択した場合に表示されます。 • ［一括で設定する］ 認証方法に関わらず［ユーザー名］、［パスワード］に設定した設定が認証に使用されます。 • ［個別に設定する］： 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーは［ユーザー名］、［パスワード］に設定した設定が認証に使用されます。
	ユーザー名	スキャン出力先フォルダーにアクセスするユーザー名を入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。
	パスワード	スキャン出力先フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。

スキャン to ネットワークフォルダー 機能の宛先編集を禁止する（Web Config）

スキャン to ネットワークフォルダー 機能のデフォルトの送信先は、ユーザーが変更できないよう設定できます。
設定は［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］の［Epson Print Admin Serverless > スキャン to ネットワークフォルダー 機能］または［Epson Open Platform］タブ -［Epson Print Admin Serverless］-［スキャン to ネットワークフォルダー 機能］からできます。

項目	説明
宛先の直接入力を禁止する	チェックを付けると、ユーザーがデフォルトの宛先を変更できないようにします。

ホーム画面を編集する（Web Config）

操作パネルのホーム画面に表示するアイコンのレイアウトを編集し、必要なアイコンだけを表示できます。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > ホーム画面編集］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ホーム画面編集］を選択します。

2. ［ホーム画面編集］で［有効］を選択します。

3. ［1ページあたりの最大表示数］から操作パネルに表示するアイコンのレイアウトを選択します。選択したレイアウトに従ったイメージが表の上に表示されます。

   ！重要 以下の場合は、特定の機能のアイコンがホーム画面に表示されません。
   - 利用者制限で使用できない機能を選択した場合
   - ログインしたユーザーのメールアドレスが登録されていない場合（スキャン to マイメール 機能）
   - 保存先のフォルダーが設定されていない場合（スキャン to マイフォルダー機能）

4. ［ページ数］から画面数を選択します。

5. アイコンを表示させたい位置にある番号と同じ番号の行で、表示する機能を選択します。

6. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「ホーム画面を編集する（設定テンプレート）」86ページ

どこでも印刷機能を設定する（Web Config）

Epson Print Admin Serverlessを利用しているプリンターと連携して、どのプリンターからでも印刷できるように設定できます。
ユーザーのコンピューターから印刷データを送るプリンターを親機として、4台まで子機を登録できます。子機からさらに子機を登録することはできません。

！重要 連携するプリンターは以下の環境が必要です。

- Epson Print Admin Serverlessが使用できる
- どこでも印刷機能に対応している
- Epson Print Admin Serverless設定が全て同じに設定されている
- 増設ネットワークインターフェイスボードを使用している場合、増設ネットワークインターフェイスでは印刷ジョブの受信のみができます。
  受信した印刷ジョブは子機に登録したプリンターから印刷できます。

異なる機種のプリンターと連携して印刷する場合、印刷設定によっては印刷できないことがあります。

関連情報

➡ 「どこでも印刷機能で連携したプリンターで印刷ジョブが選択できず印刷できない」115ページ

プリンターを連携する（Web Config）

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > どこでも印刷機能］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ-［Epson Print Admin Serverless］-［どこでも印刷機能］を選択します。

2. ［1:］から［5:］に連携するプリンターを設定します。

   参考 現在設定しているプリンターを必ず含めてください。

   IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。FQDN形式（<ホスト名>.<ドメイン名>形式）では以下が使用できます。

   - ホスト名：2～63バイトのUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）
   - ドメイン名：2～249バイトのUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）。ピリオドは区切り文字として使用して連続はできません。また63バイト以内でピリオドで区切ってください。

3. ［設定］をクリックします。

   接続確認が始まります。接続が成功すると接続確認ページが表示されます。

ページ数管理を設定する（Web Config）

Epson Print Admin Serverlessのページ数管理を設定します。
本体認証で使用するユーザーにページ数管理を設定できます。
［認証方式］で［外部認証］や［みなし認証］を選択した場合、メニュー項目から［ページ数管理］が非表示になります。

参考 ユーザーごとにページ数管理の設定を変えたいときは［Epson Open Platform］タブ -［ユーザー設定］で設定してください。

1. ［Epson Print Admin Serverless設定メニュー］から［Epson Print Admin Serverless > ページ数管理］を選択します。
   または［Epson Open Platform］タブ -［ページ数管理］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡「ユーザー情報の登録（Web Config）」34ページ

ページ数管理 設定項目（Web Config）

項目	説明
ページ数管理	ページ数管理を行うか選択します。
残高不足時動作	ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が不足した時の動作を選択します。 • ジョブ終了後に制限する ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が0以下になっても、印刷中のジョブは最後まで印刷されます。次に印刷するジョブは操作パネルに残ページ数不足のメッセージが表示され印刷できません。 • ジョブを終了する ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が0以下になると、操作パネルに残ページ数不足のメッセージが表示され印刷が中止されます。中止された印刷ジョブは削除されずに印刷ジョブ一覧に保持されます。 **！重要** 印刷する前に印刷ページ数が判定できない場合、印刷可能なページ数を超えても印刷が行われることがあります。 ページ数を判定できないのは以下のような場合です。 • ADFを使ったコピー • 印刷設定で［カラー(自動)］を選択した印刷
ログイン後ページ	プリンターにログオンした後に表示される画面を選択します。 • 印刷ジョブリスト 印刷ジョブリストを表示します。 ユーザー情報の設定で［ログオン後の自動印刷］が有効の場合、ユーザーがプリンターにログオンすると自動で印刷が開始されます。 • ホーム画面 ホーム画面を表示します。 ユーザー情報の設定で［ログオン後の自動印刷］が有効になっている場合でも、［ホーム画面］が選択されていると、ユーザーがプリンターにログオンしても自動で印刷が開始されません。
更新スケジュール設定	印刷可能なページ数を定期的に更新するための設定を行います。
一括枚数設定	印刷可能なページ数を追加します。

- 更新スケジュール設定

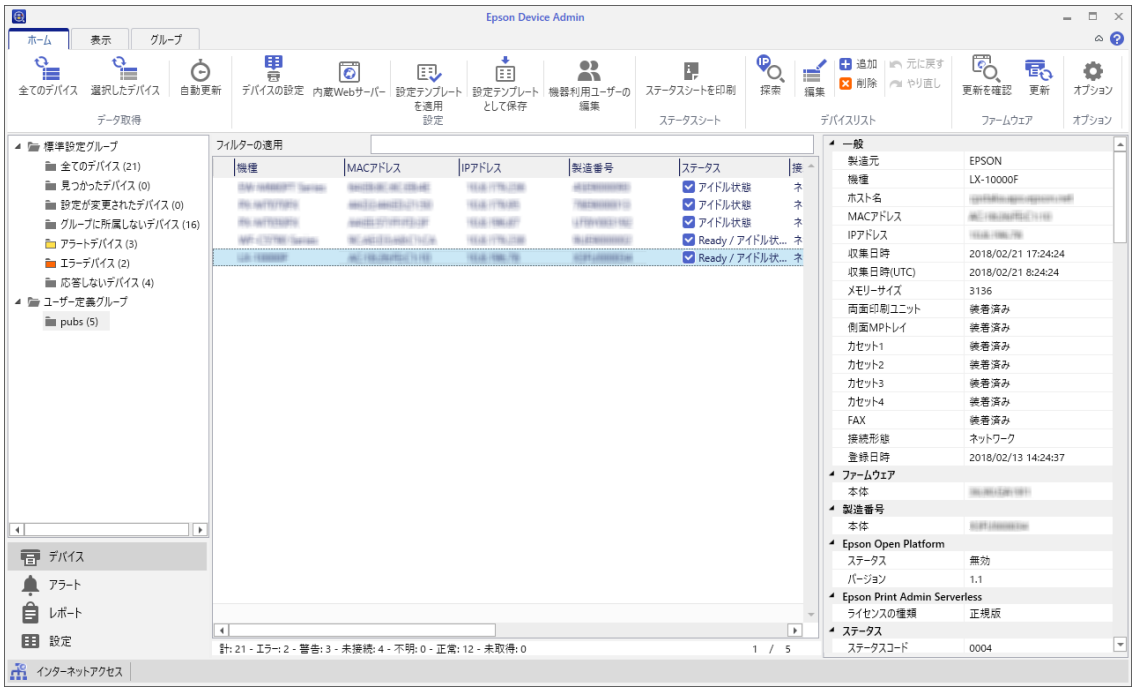
項目		説明
カラー	有効/無効	［有効］を選択すると、カラー印刷可能なページ数は［最大ページ数］で設定したページ数で定期的に更新されます。
	機能	ページ数管理の対象となる機能名を表示します。
	最大ページ数	定期的に更新するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。
モノクロ	有効/無効	［有効］を選択すると、モノクロ印刷可能なページ数は［最大ページ数］で設定したページ数で定期的に更新されます。
	機能	ページ数管理の対象となる機能名を表示します。
	最大ページ数	定期的に更新するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。
更新スケジュール設定		印刷可能なページ数を更新するスケジュールを設定します。 ［しない］を選択すると、定期的なページ数の更新は行われません。
月		ページ数を加算する月を1～12までの半角数字で入力します。 ［更新スケジュール設定］で［年］が選択されているときに入力できます。
日		ページ数を加算する日にちを1～31までの半角数字で入力します。 ［更新スケジュール設定］で［年］または［月］が選択されているときに入力できます。
週		ページ数を加算する曜日を選択します。 ［更新スケジュール設定］で［週］が選択されているときに入力できます。
時		ページ数を加算する時刻を0～23までの半角数字で入力します。 ［更新スケジュール設定］で［しない］以外が選択されているときに入力できます。
更新前のページ数保持		印刷可能なページ数を更新するときに、更新前のページ数を保持するかどうか設定します。 ［有効］を選択すると、残ページ数を繰り越して［最大ページ数］で設定したページ数が加算されます。残ページ数が負の場合、負の分を差し引いたページ数が加算されます。

- 一括枚数設定

項目		説明
カラー	有効/無効	［有効］を選択すると、［追加ページ数］で設定したページ数をカラー印刷可能なページ数に追加します。
	機能	ページ数管理の対象となる機能名を表示します。
	追加ページ数	追加するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、カラー印刷可能なページ数を削減できます。
モノクロ	有効/無効	［有効］を選択すると、［追加ページ数］で設定したページ数をモノクロ印刷可能なページ数に追加します。
	機能	ページ数管理の対象となる機能名を表示します。
	追加ページ数	追加するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、モノクロ印刷可能なページ数を削減できます。

Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にEpson Print Admin Serverlessを設定できます。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。
認証方式によってEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定を行ってください。詳細は関連情報をご覧ください。



関連情報

➡ 「認証方式による必要な設定」13ページ

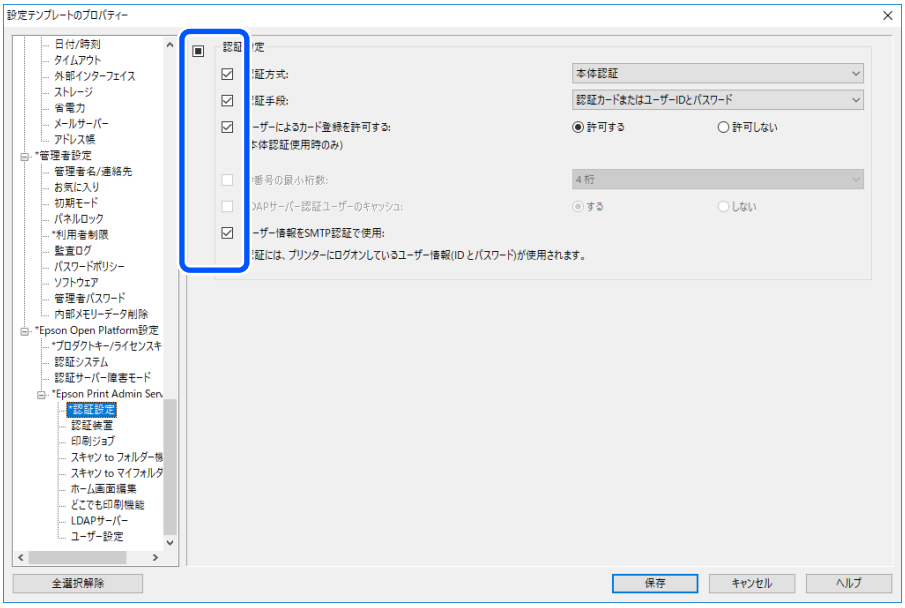
Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

Epson Device Adminの設定テンプレートを使ってEpson Print Admin Serverlessの設定を行います。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

1. 設定テンプレートを新規作成します。

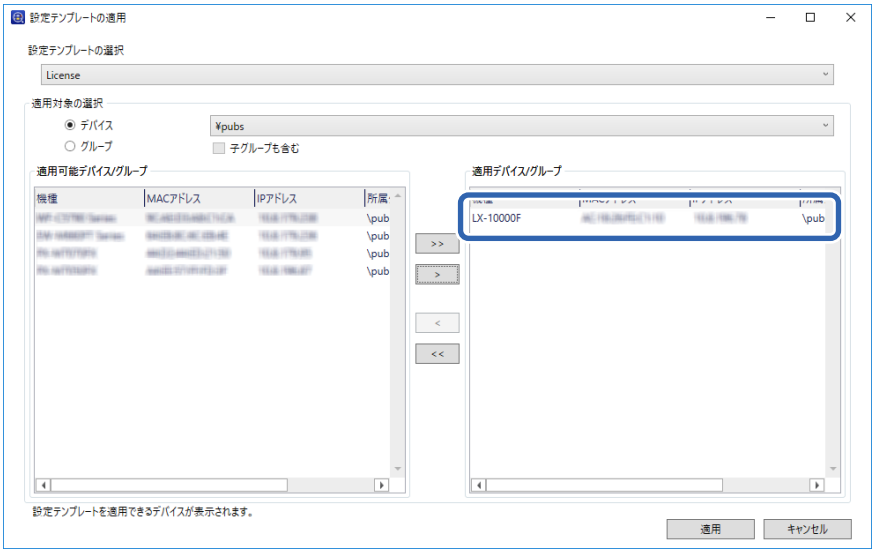
2. 設定する機能の画面で設定値を入力、選択し、適用する項目にチェックを付けます。

   以下は認証設定画面の例です。



3. 設定テンプレートを保存します。

4. 設定を適用するプリンターを選択して設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報をご覧ください。

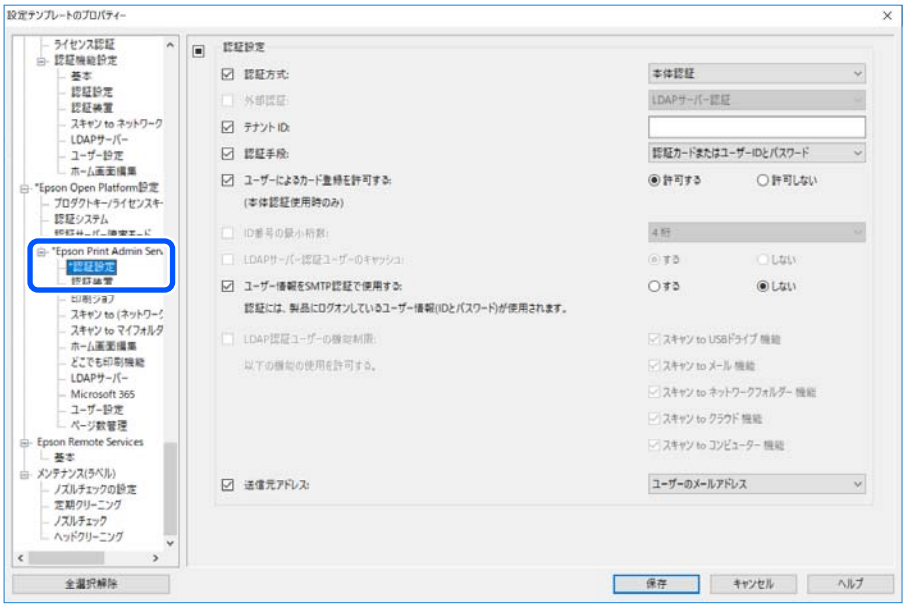
関連情報

➡ 「設定テンプレートを新規作成する」25ページ
➡ 「設定テンプレートを適用する」27ページ

ユーザー認証設定をする（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［認証設定］を選択します。



2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「認証設定の設定項目（設定テンプレート）」62ページ

認証設定の設定項目（設定テンプレート）

項目	説明
認証方式	認証方式を選択します。 **！重要** どこでも印刷機能を使用する場合、連携するプリンターの認証方式やユーザー設定、印刷ジョブの有効期間など、Epson Print Admin Serverlessの設定は全て同じにしてください。 • 本体認証 プリンターの本体に登録されたユーザー情報を使って認証します。プリンター本体にユーザー情報の登録が必要です。 • 外部認証 連携している外部認証のユーザー情報を使って認証します。利用する外部認証に応じて、LDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • 本体認証と外部認証 プリンター本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。プリンターにユーザー情報の登録と、利用する外部認証に応じてLDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • みなし認証 あらかじめプリンターに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。ユーザー情報の登録は必要ありません。
外部認証	ユーザー認証時に使用する外部認証の種類を選択します。 • Microsoft Entra ID 認証 連携しているMicrosoft Entra IDに登録されているユーザー情報を使って認証します。Microsoft Entra ID認証を使用するには、Microsoft 365との連携とMicrosoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。プリンター本体をMicrosoft 365と連携させるには、Web Configを使ってプリンター本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインする必要があります。 Microsoft 365と連携させる方法は以下を参照してください。 「Microsoft 365との連携について」41ページ 「プリンター本体からMicrosoftアカウントでサインインする（Web Config）」41ページ • LDAPサーバー認証 連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。LDAPサーバー設定が必要です。
テナント ID	Microsoft Entra IDにアクセスするためのテナントIDを入力します。Microsoft Entra ID認証を使用する場合に入力が必要です。また、プリンターの操作パネルの［個人のクラウドストレージ］や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の［個人用連絡先］を選択して、その機能を利用するときにも入力が必要です。 **参考** テナントIDの確認方法は以下を参照してください。 「Microsoft Entraのテナント IDを確認する」33ページ

項目	説明
認証手段	認証手段を選択します。 • 認証カードまたはユーザーIDとパスワード ユーザー認証にIDカードを使用します。ユーザーIDとパスワードによる認証も使用できます。 ［認証方式］で［みなし認証］を選択していると［認証カード］に固定されます。 • ユーザーIDとパスワード ユーザー認証にユーザーIDとパスワードを使用します。 IDカードによる認証は使用できません。 • ユーザーID ユーザー認証にユーザーIDのみを使用します。パスワードの設定は必要ありません。 • 認証カードまたはID番号 ユーザー認証にIDカードを使用します。ID番号も使用できます。 • ID番号 ユーザー認証にID番号のみを使用します。
ユーザーによるカード登録を許可する	許可すると、認証カードの登録をユーザーが行えます。 以下の認証方法を選択していると設定できません。 • ［認証方式］で［外部認証］を選択し、［外部認証］で［LDAPサーバー認証］を選択している場合 • ［認証方式］で［みなし認証］を選択している場合
ID番号の最小桁数	ID番号の最小桁数を選択します。
ユーザーIDの最小バイト数(UTF-8)	ユーザーIDの最小バイト数を選択します。 ヨーロッパ、中東、アフリカ地域でのみ利用できます。
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザー情報のキャッシュを使用するかしないか設定できます。［外部認証］が［LDAPサーバー認証］のときに設定できます。 ［しない］を選択すると、プリンターの操作パネルの［個人のクラウドストレージ］や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の［個人用連絡先］を選択して、その機能を利用するときに、Microsoftアカウントでサインインする画面が毎回表示されます。
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	認証手段にユーザーIDとパスワードを利用している場合、ユーザー情報をSMTP認証に利用するかしないか設定できます。最後にログオンしたユーザーIDとパスワードがSMTP認証に使用されます。
LDAP認証ユーザーの機能制限	LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザーがスキャン機能を利用するかしないか設定できます。 この設定は本機器では利用できません。
送信元アドレス	スキャン to メール 機能やスキャン to マイメール 機能を使用するときの送信元のメールアドレスを選択します。 • ユーザーのメールアドレス プリンターにログオンしているユーザーのメールアドレスを使用します。ユーザーのメールアドレスが設定されていないときは、プリンターに設定されている送信元メールアドレスを使用します。 • 製品のメールアドレス プリンターに設定されている送信元メールアドレスを使用します。

！重要 **LDAPサーバー認証を使用する場合のご注意：**
増設ネットワークインターフェイスボードを使用している場合は、LDAPサーバー認証に使用するネットワークインターフェイスを設定してください。LDAPサーバーは標準のネットワークインターフェイスまたは増設したネットワークインターフェイスのどちらかのみで使用できます。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［LDAPサーバー］

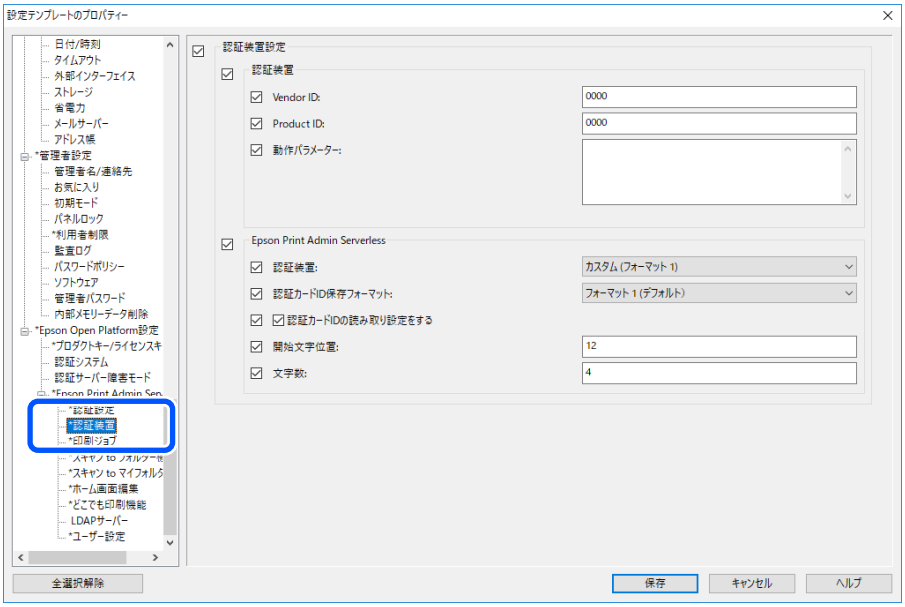
関連情報

➡ 「認証方式の概要」7ページ

認証装置を設定する（設定テンプレート）

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［認証装置］を選択します。



2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

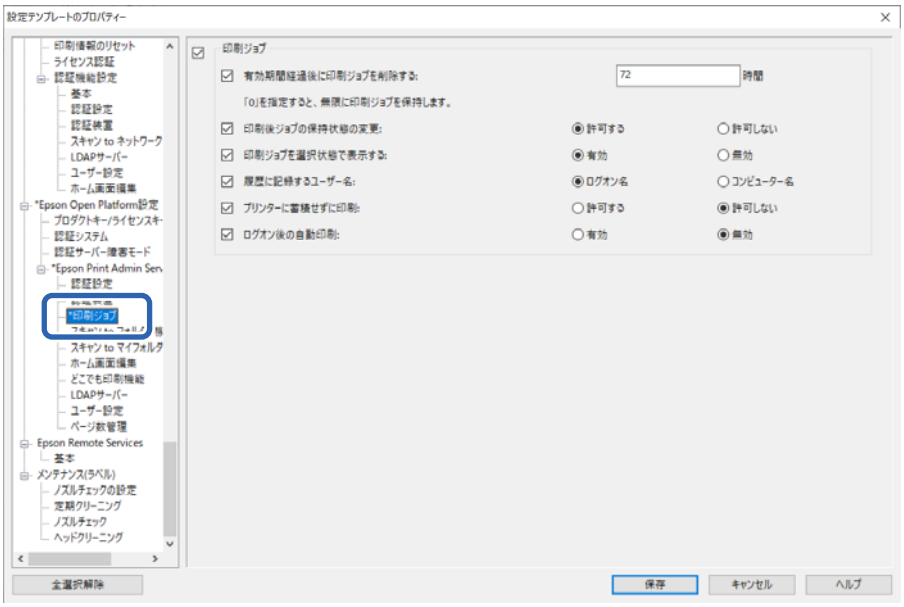
関連情報

➡ 「設定できる認証情報の読み取り方法」22ページ

印刷ジョブを設定する（設定テンプレート）

クライアントコンピューターから送信された印刷ジョブに関する設定をします。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［印刷ジョブ］を選択します。



2. 各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

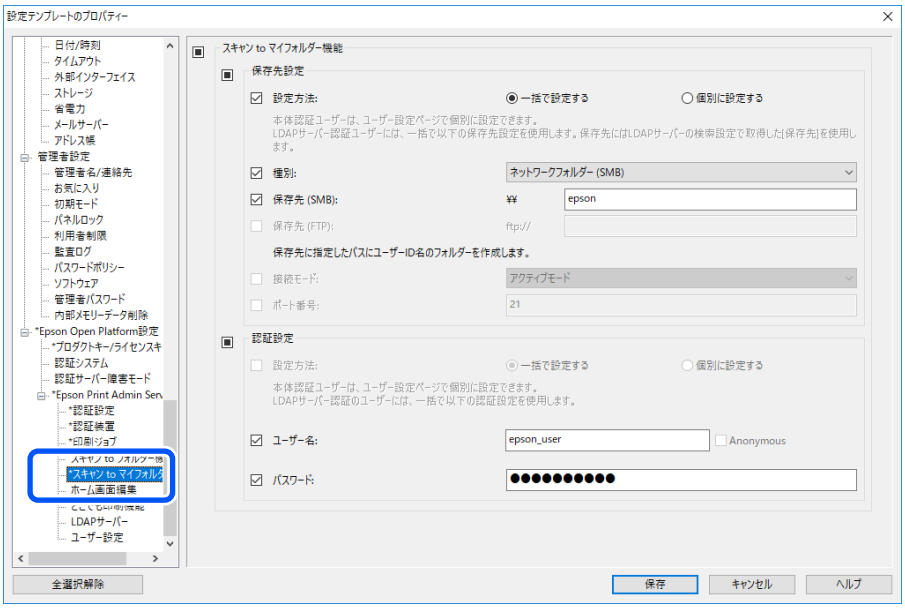
関連情報

➡ 「印刷ジョブ設定項目」33ページ

スキャン to マイフォルダー機能を設定する（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessで使用するスキャンto マイフォルダー機能の宛先を設定します。スキャン toマイフォルダー機能は、指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成され、スキャン結果が保存されます。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［スキャン to マイフォルダー機能］を選択します。



2. 各項目を設定します。

スキャン to マイフォルダー機能設定項目（設定テンプレート）

項目		説明
保存先設定	設定方法	• ［一括で設定する］ ［保存先］に指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されてスキャン結果が保存されます。 • ［個別に設定する］： ユーザーごとにスキャン結果の保存先を設定できます。 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーはLDAPサーバーの検索属性で保存先を設定できます。
	種別	送信プロトコルを選択します。スキャンの出力先がネットワークフォルダーの場合、［ネットワークフォルダー (SMB)］を選択します。 FTP サーバーの場合は［FTP］を選択します。
	保存先 (SMB)	［種別］で［ネットワークフォルダー (SMB)］を選択した場合に設定します。 スキャンデータの出力先のパスを設定し ます。 Unicode（UTF-8）で表せる160文字以内で入力します。
	保存先 (FTP)	［種別］で［FTP］を選択した場合に設定します。スキャンデータの出力先のURLを設定し ます。 Unicode（UTF-8）で表せる160文字以内で入力します。
	接続モード	［種別］で［FTP］を選択した場合に設定します。 FTP サーバーへの接続モードを選択します。
	ポート番号	［種別］で［FTP］を選択した場合に設定します。 FTP サーバーにスキャンデータを送信するポートの番号を1～65535の間で入力します。
認証設定	設定方法	［保存先設定］の［設定方法］で［個別に設定する］を選択した場合に表示されます。 • ［一括で設定する］ 認証方法に関わらず［ユーザー名］、［パスワード］に設定した設定が認証に使用されます。 • ［個別に設定する］： 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーは［ユーザー名］、［パスワード］に設定した設定が認証に使用されます。
	ユーザー名	スキャン出力先フォルダーにアクセスするユーザー名を入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる255文字以内で入力します。 ［Anonymous］にチェックを付けるとユーザー名が「anonymous」に固定されます。
	パスワード	スキャン出力先フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。 ASCII文字を使用して255文字で入力します。

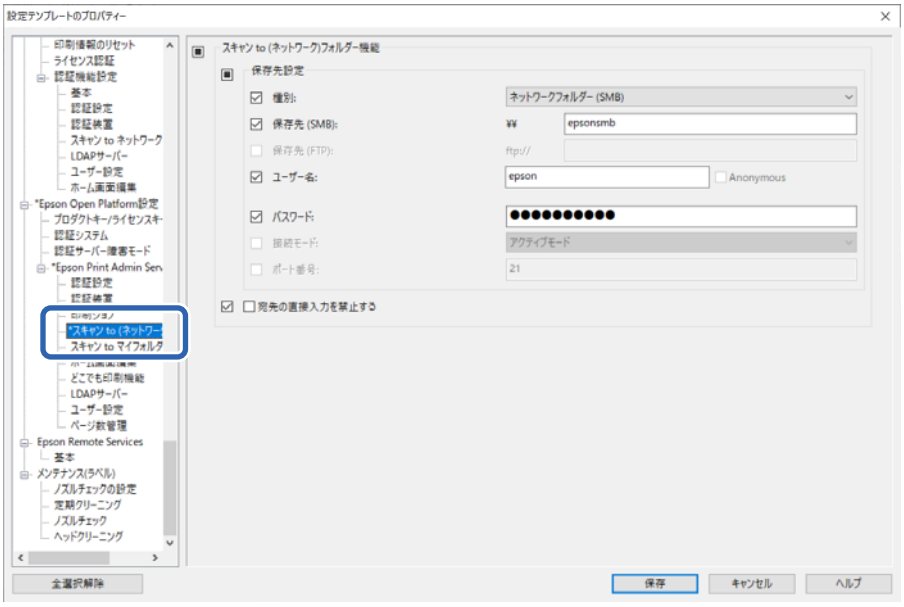
関連情報

➡ 「スキャン to マイフォルダー機能を設定する（Web Config）」53ページ

スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能の宛先編集を禁止する（設定テンプレート）

スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能のデフォルトの送信先は、ユーザーが変更できないよう設定できます。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］-［Epson Print Admin Serverless］-［スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能］を選択します。



2. ［宛先の直接入力を禁止する］にチェックを付けます。

関連情報

➡ 「スキャン to ネットワークフォルダー 機能の宛先編集を禁止する（Web Config）」54ページ

クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の検索属性の設定（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳を使うと、「組織の連絡先」と「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。

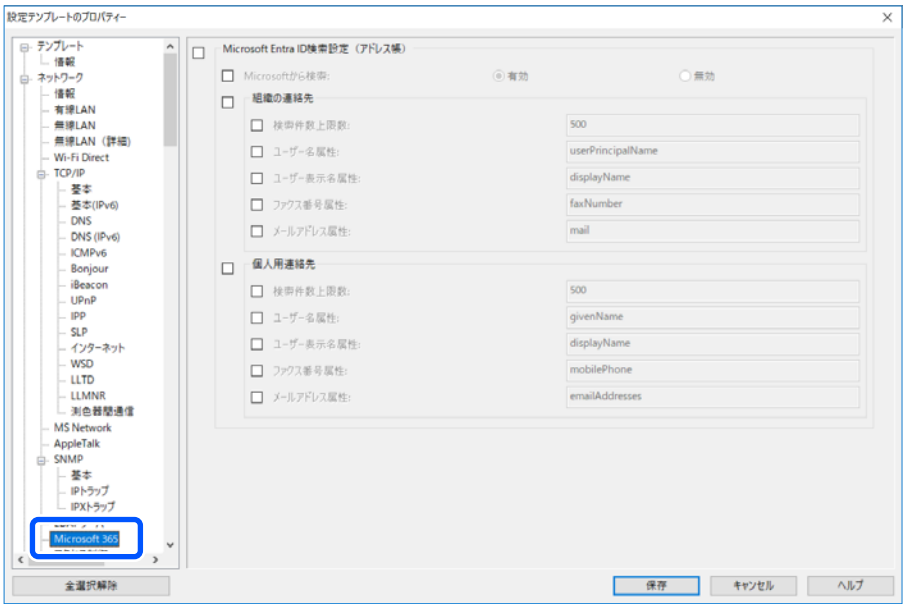
関連情報

➡ 「「組織の連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）」69ページ
➡ 「「個人用連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）」70ページ

「組織の連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳から「組織の連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。

1. 設定テンプレートから、［ネットワーク］-［Microsoft 365］を選択します。



2. ［Microsoft Entra ID検索設定（アドレス帳）］にチェックを付けます。

3. ［Microsoftから検索］から［有効］を選択します。

4. ［組織の連絡先］の各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「「組織の連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）」69ページ

「組織の連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）

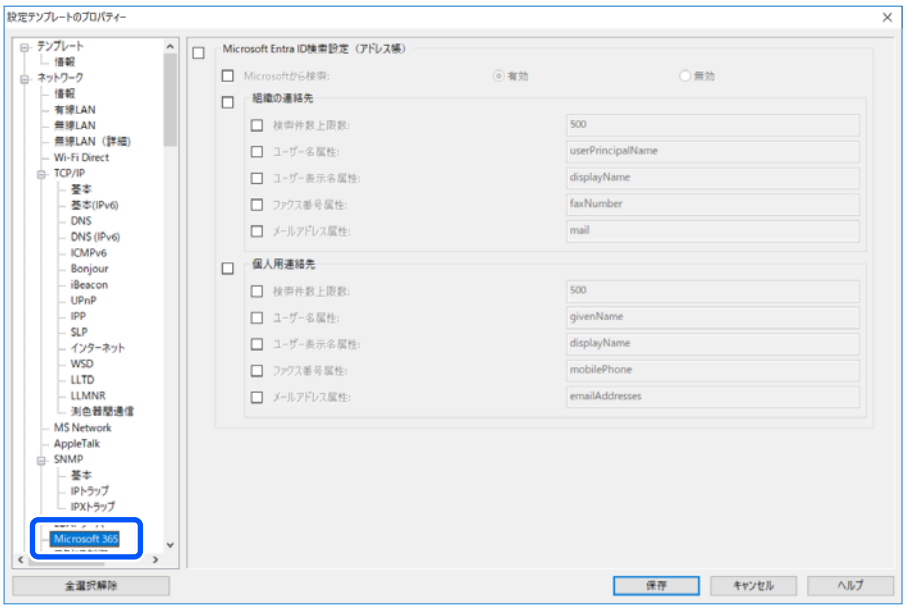
項目	設定値と説明
検索件数上限数	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：userPrincipalName

項目	設定値と説明
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
ファクス番号属性	ファクス番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：faxNumber
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

「個人用連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳から「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを検索できます。「個人用連絡先」には、各ユーザーがMicrosoft Outlookなどで登録した個人用の連絡先が登録されています。

1. 設定テンプレートから、［ネットワーク］-［Microsoft 365］を選択します。



2. ［Microsoft Entra ID検索設定（アドレス帳）］にチェックを付けます。

3. ［Microsoftから検索］から［有効］を選択します。

4. ［個人用連絡先］の各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「「個人用連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）」71ページ

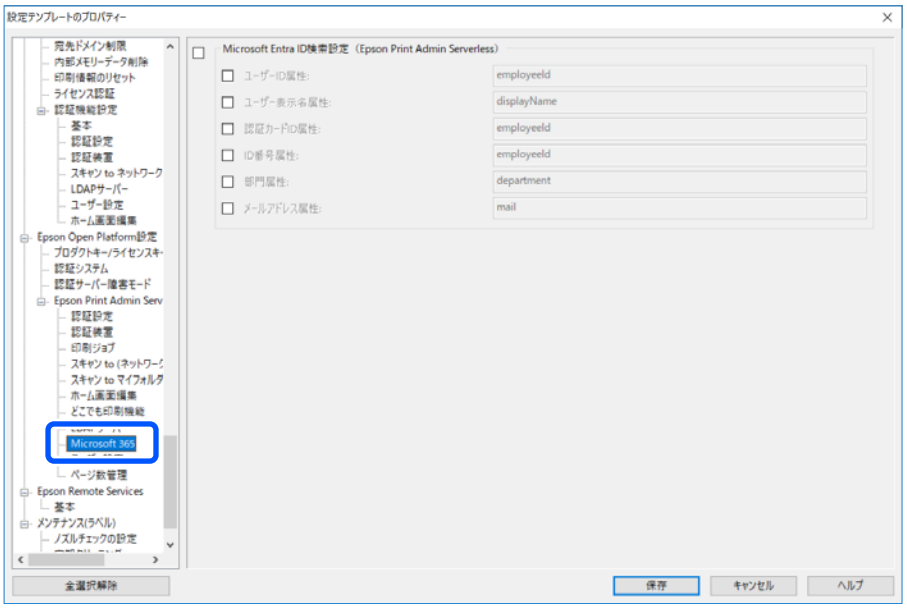
「個人用連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）

項目	設定値と説明
検索件数上限数	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
ファクス番号属性	ファクス番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：faxNumber
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

Microsoft Entra ID認証の検索属性を設定する（設定テンプレート）

連携しているMicrosoft Entra IDからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [Microsoft 365] を選択します。



2. [Microsoft Entra ID検索設定（Epson Print Admin Serverless）] にチェックを付けます。

3. 各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「Microsoft Entra ID認証の検索設定項目（設定テンプレート）」72ページ

Microsoft Entra ID認証の検索設定項目（設定テンプレート）

項目	設定値と説明
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：employeeId
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：employeeId

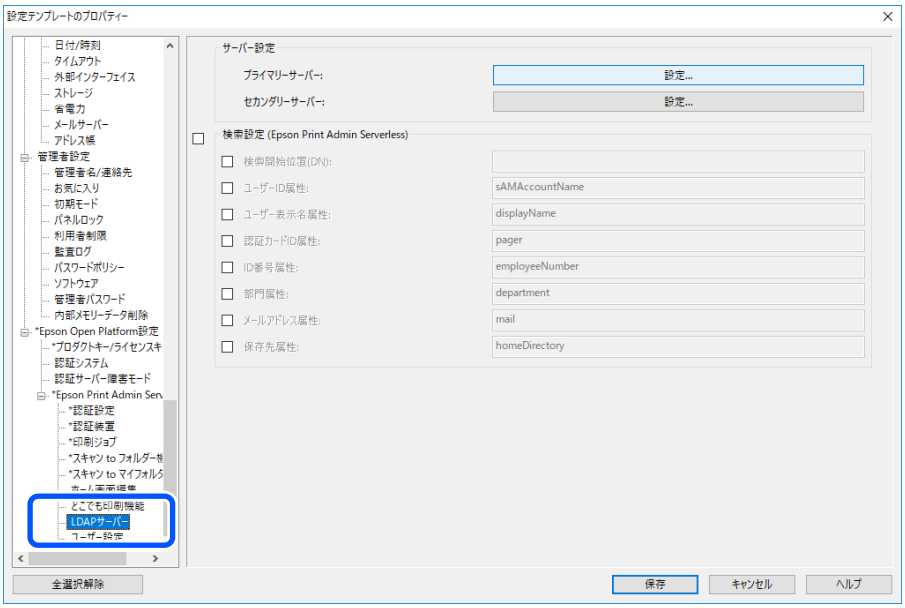
項目	設定値と説明
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeId
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：department
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

LDAPサーバーと連携する（設定テンプレート）

使用するLDAPサーバー設定とユーザー情報を特定するための検索属性を設定します。
［認証方式］で［外部認証］や［本体認証と外部認証］を選択し、［外部認証］で［LDAPサーバー認証］を選択した場合に設定してください。
LDAPサーバーの冗長システムとして使用できます。

参考　ここで設定したLDAPサーバー設定は、［アドレス帳］で使用される［ネットワーク］-［LDAPサーバー］の［サーバー設定 (プライマリーサーバー)］、［サーバー設定 (セカンダリーサーバー)］と共有です。どちらかの値を変更するともう一方に反映されます。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］-［Epson Print Admin Serverless］-［LDAPサーバー］を選択します。



2. 各項目を設定します。

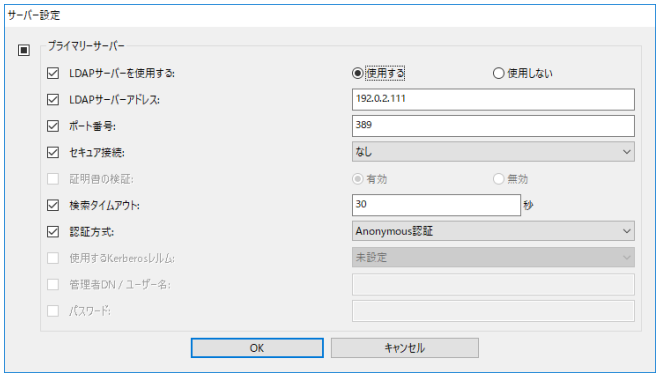
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「LDAPサーバー設定項目」74ページ
➡ 「Kerberos 設定項目」75ページ
➡ 「LDAPサーバー認証の検索設定項目」76ページ

LDAPサーバー設定項目

［サーバー設定 (プライマリーサーバー)］の［設定］をクリックします。
［認証方式］で［Kerberos認証］を選択する場合は［ネットワーク］ - ［セキュリティー］ - ［Kerberos設定］からKerberos設定をしてください。



項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	使用する場合はチェックを付けます。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～1024文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
ポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに［相手サーバー検証用証明書］のインポートが必要です。
検索タイムアウト	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を0～99999までの半角数字で入力します。

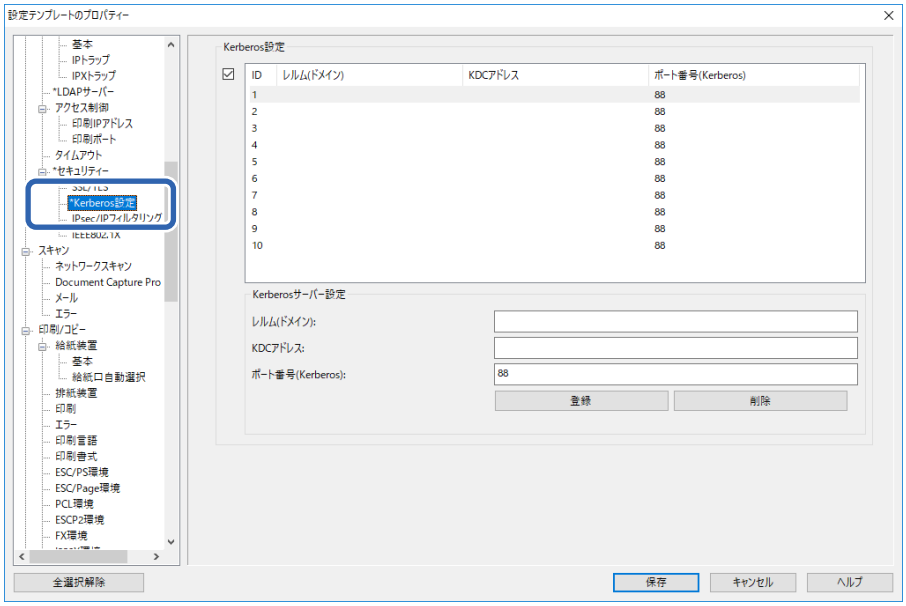
項目	設定値と説明
認証方式	認証方式を選択します。 ［Kerberos認証］を選択する場合は、［Kerberos設定］を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	［認証方式］で［Kerberos認証］を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode（UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode（UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

関連情報

➡ 「LDAPサーバーからインポートする」80ページ

Kerberos 設定項目

［ネットワーク］ - ［セキュリティー］ - ［Kerberos設定］を選択します。



項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII文字で表せる1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバー認証の検索設定項目

LDAPサーバー認証に連携する登録するユーザー情報の検索属性を設定します。
検索設定

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	LDAPサーバーからユーザー情報を検索するときの検索開始位置を指定します。 Unicode（UTF-8）で表せる0～128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、name
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：cn、id
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：ou、ou-cl
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

項目	設定値と説明
保存先属性	スキャン to マイフォルダー機能の保存先を参照する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、 a～zにしてください。 設定例：homeDirectory

関連情報

➡ 「LDAPサーバーとの連携（Web Config）」45ページ
➡ 「LDAPサーバーからインポートする」80ページ

ユーザー情報の登録（設定テンプレート）

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。
［認証方式］で［外部認証］や［みなし認証］を選択した場合、ユーザー情報の登録は不要です。

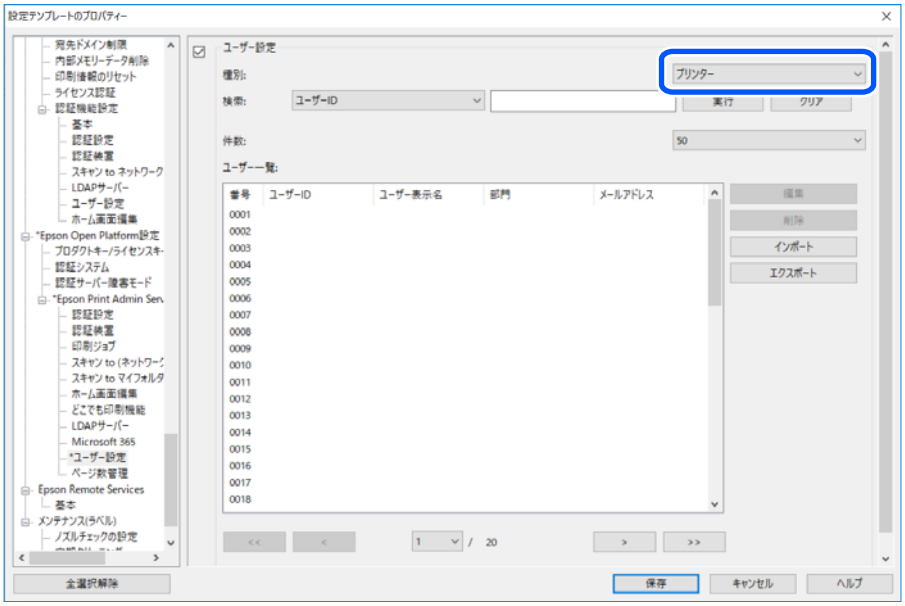
ユーザー情報のインポート（設定テンプレート）

LDAPサーバーやCSV/ENEファイルを利用して、本体認証で使用されるユーザー情報を本体に一括で登録できます。
LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverless用にユーザー情報を検索し、インポートして登録できます。
ユーザー情報はアドレス帳で宛先を使用していない件数までインポートできます。
Epson Print Admin Serverlessからユーザー情報をエクスポートするときに、ユーザー情報をインポートするときに必要となるパスワードを設定します。

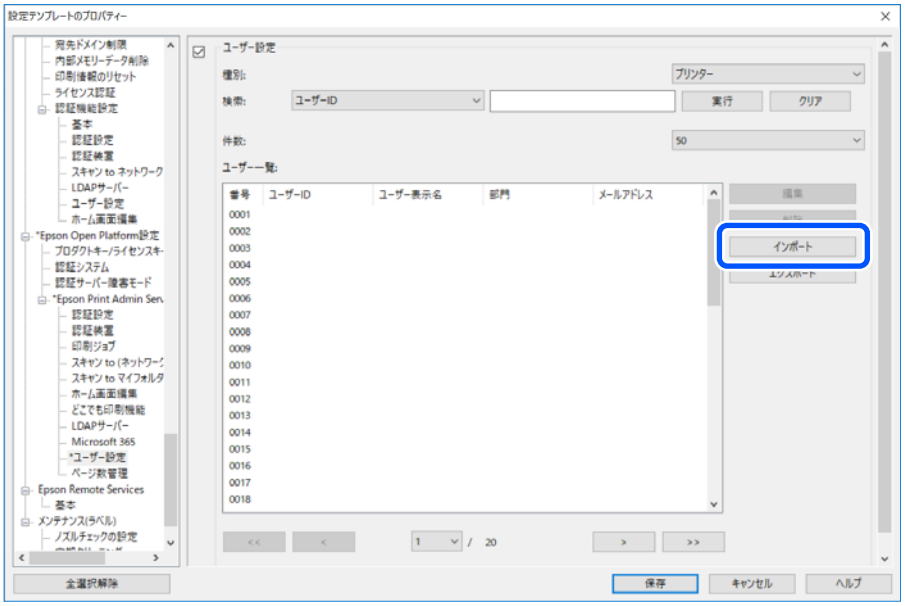
CSV ファイル/ENE ファイルからインポートする

1. ［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ユーザー設定］の順に選択します。

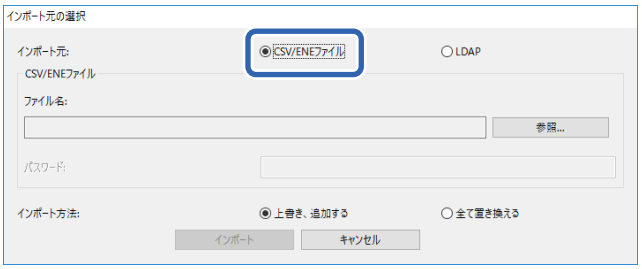
2. ［種別］で［プリンター］を選択します。



3. ［インポート］をクリックします。



4. ［インポート元］で［CSV/ENEファイル］を選択します。



5. ［参照］をクリックします。

   ファイル選択画面が表示されます。

6. インポートするファイルを選択して［開く］をクリックします。

7. 選択したCSV/ENEのパスワードを入力します。

8. インポート方法を選択します。

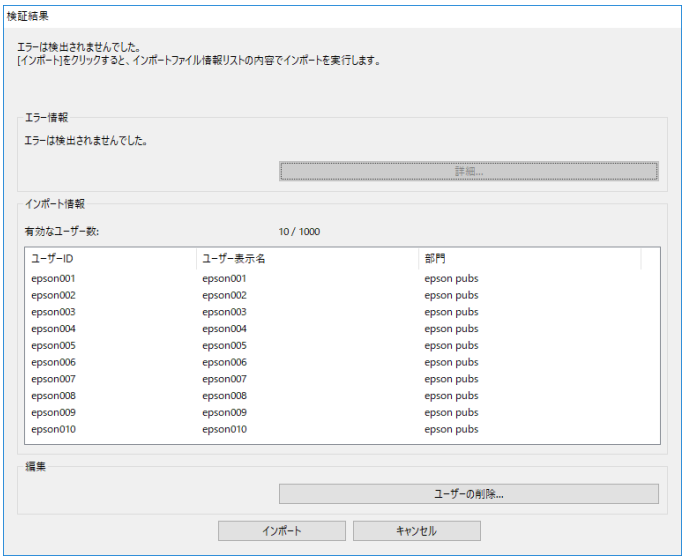
   - 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
   - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。

9. ［インポート］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

10. ［OK］をクリックします。

    読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。



参考

- 読み込んだユーザー情報がインポートできる件数を超えた場合、ユーザー情報を削除するよう案内が表示されます。インポートする前に超過しているユーザー情報を削除してください。
- ［ユーザーの削除］をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して［削除］をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

11. ［インポート］をクリックします。

    ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

➡ 「CSVファイルを作成する」37ページ

LDAPサーバーからインポートする

1. ［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ユーザー設定］の順に選択します。

2. ［インポート］をクリックします。

3. ［インポート元］で［LDAP］を選択します。

4. ［設定］をクリックします。

   LDAPサーバー設定が表示されます。

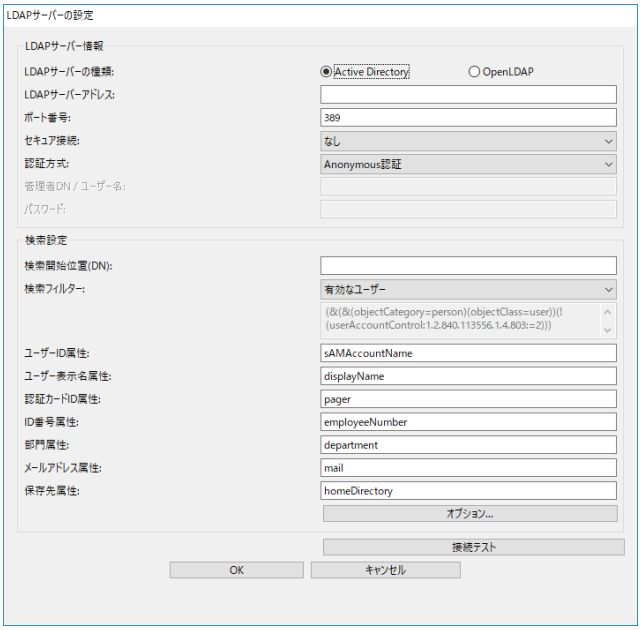
   参考　このLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーのユーザー情報をインポートするための設定です。ここで取得したユーザー情報はプリンターにインポート（コピー）して本体認証で使用するユーザーとして登録されます。
   一方、［外部認証］や［本体認証と外部認証］で使用するLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーと通信しながら認証するために設定します。

5. 各項目を設定します。

   LDAPサーバーからユーザー情報をインポートする場合、LDAP設定の項目に加えて以下が設定できます。
   その他の項目は関連情報をご覧ください。

項目		説明
LDAPサーバー情報	LDAPサーバーの種類	LDAPサーバーの種類を選択できます。

項目			説明
検索設定	検索フィルター		LDAP検索フィルターの文字列を設定できます。［手動設定］を選択すると検索文字列を編集できます。
	オプション	種別	スキャン to マイフォルダー機能の保存先の種別を設定できます。
		接続モード	［種別］が［FTP］のとき、FTPの接続モードを設定できます。
		ポート番号	［種別］が［FTP］のとき、使用するポート番号を設定できます。



6. 必要に応じて［接続テスト］をクリックし、接続テストを行います。

   LDAPサーバーから10件分のユーザー情報を取得して表示します。

7. ［OK］をクリックします。

8. インポート方法を選択します。

   - 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
   - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。

9. ［インポート］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

10. ［OK］をクリックします。

    読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

    参考　［ユーザーの削除］をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して［削除］をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

11. ［インポート］をクリックします。

    ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

- 「CSVファイルを作成する」37ページ
- 「LDAPサーバーとの連携（Web Config）」45ページ
- 「ユーザー情報のメンテナンス」103ページ
- 「LDAPサーバー設定項目」74ページ
- 「LDAPサーバー認証の検索設定項目」76ページ

その他の設定（設定テンプレート）

必要に応じて設定してください。

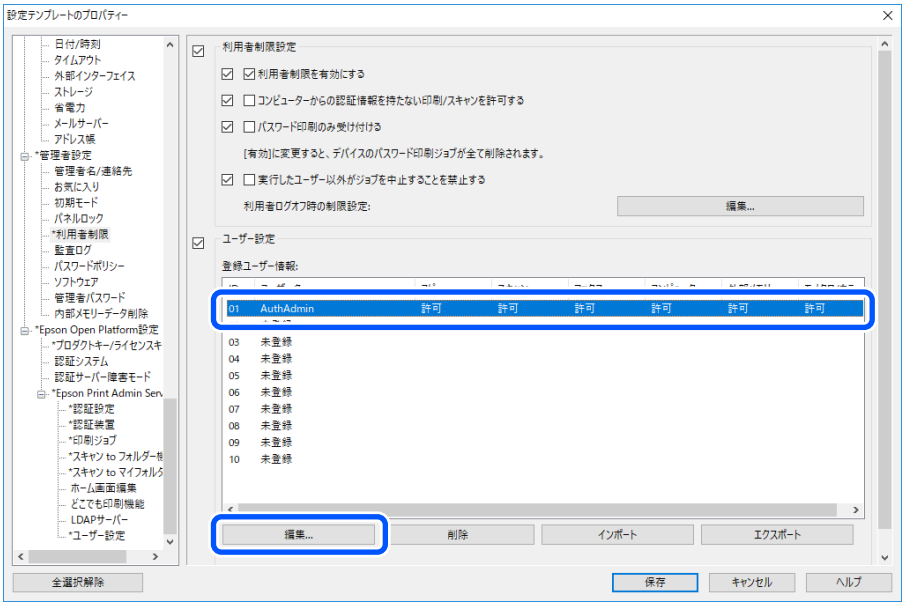
利用許可を設定する（設定テンプレート）

登録ユーザーがEpson Print Admin Serverlessにログオンしたときに共通で使用する機能を設定します。

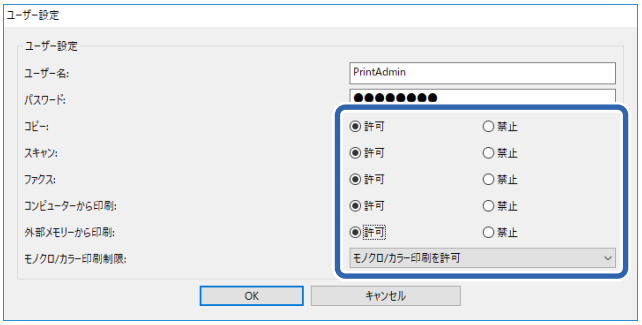
参考　Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、Web Configのユーザー設定でユーザーごとに利用者制限を設定できます。設定の詳細は関連情報をご覧ください。

1. 設定テンプレートから、［管理者設定］ - ［利用者制限］を選択します。

2. ［01］を選択して、［編集］をクリックします。



3. 使用を許可する機能で［許可］を選択します。



4. ［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「利用許可を設定する（Web Config）」47ページ
➡ 「ユーザー情報の設定項目」35ページ

ドライバーやソフトウェアからの利用を許可する

コンピューターからスキャンやファクス送信、帳票印刷などを実行できるように利用許可を設定します。

ドライバーの利用許可を設定する（設定テンプレート）

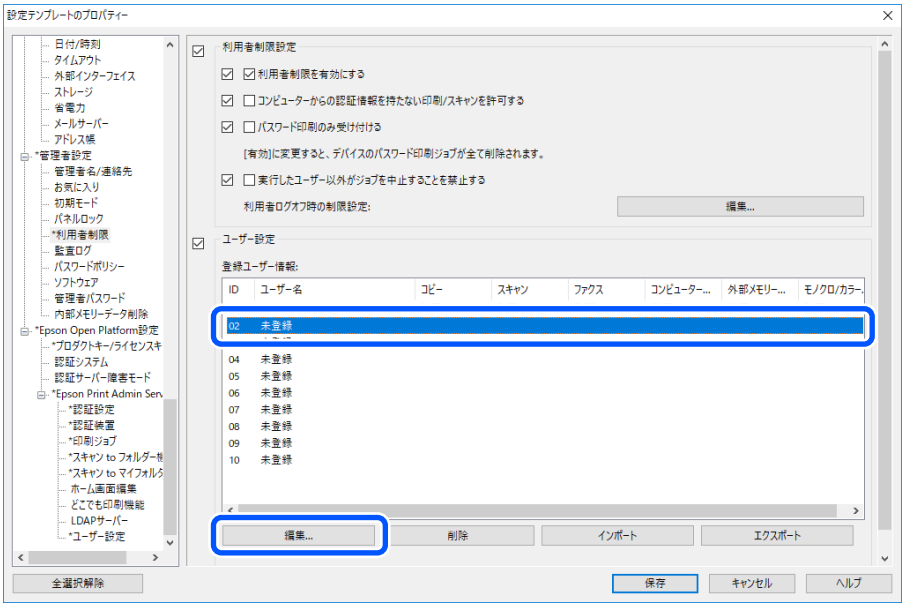
Epson Scan 2やPC-FAXなどから利用するためのアカウントを作成します。

参考 PC-FAXはファクス機能搭載機で使用できます。

1. 設定テンプレートから、［管理者設定］-［利用者制限］を選択します。

2. ［01］を除く登録されていない行のIDを選択し、［編集］をクリックします。

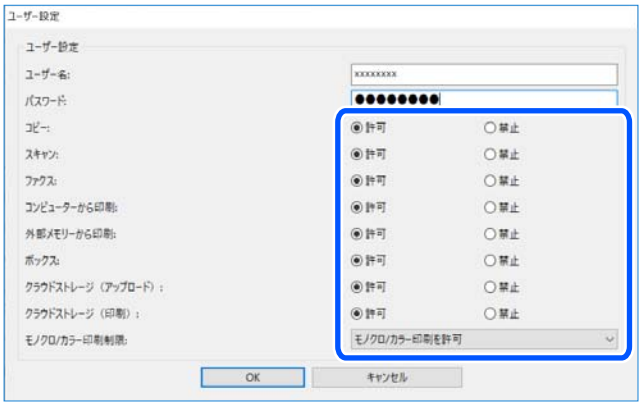
参考 ［01］は認証システムなどのアプリケーションが使用します。



3. 任意の［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

参考 ここで設定したユーザー名、パスワードがドライバーやソフトウェアの認証に使用されます。

4. ドライバーやソフトウェアに使用を許可する機能の［許可］を選択します。



5. ［OK］をクリックします。

Epson Scan 2やPC-FAXを使用するコンピューターに手順3で設定したユーザー名とパスワードを登録してください。

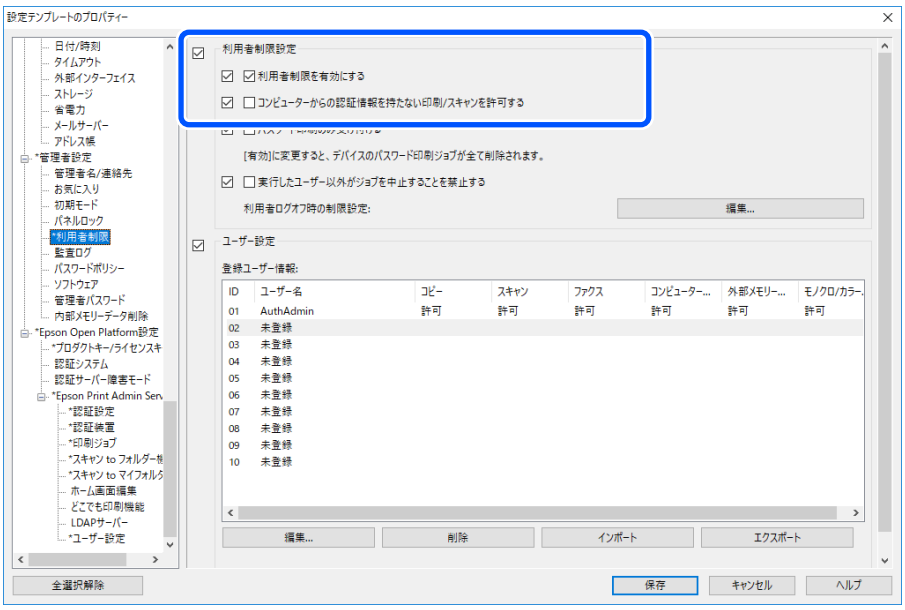
関連情報

➡ 「コンピューターからスキャンする」48ページ
➡ 「PC-FAXでファクスを送受信する」50ページ

認証情報のない印刷ジョブを許可する（設定テンプレート）

1. 設定テンプレートから、［管理者設定］ - ［利用者制限］を選択します。

2. ［利用者制限設定］の［利用者制限を有効にする］と［コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する］にチェックを付けます。



認証しないで使用できる機能を設定する（設定テンプレート）

ユーザーがログオフしているとき、任意のユーザーにプリンターのスタンドアロン機能（コピー、ファクス、スキャンなど）の使用を許可します。ログオン画面に許可した機能のアイコンが表示されます。

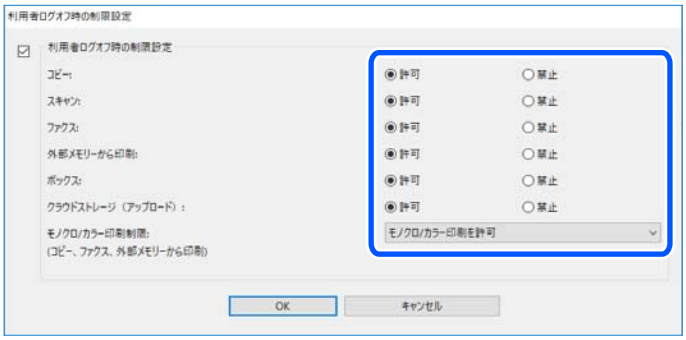
参考　ファクスはファクス機能搭載機で使用できます。

1. 設定テンプレートから、［管理者設定］ - ［利用者制限］を選択します。

2. ［利用者ログオフ時の制限設定］の［編集］をクリックします。

3. ［利用者ログオフ時の制限設定］にチェックを付けます。

4. 使用を許可する機能で［許可］を選択します。



5. ［OK］をクリックします。

関連情報

➡「認証しないで使用できる機能を設定する（Web Config）」51ページ

メールサーバーの設定（設定テンプレート）

プリンターがメールを送信する機能を使用する場合に設定してください。

- スキャン to マイメール 機能
  プリンターにログオンしたユーザーのメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。
- メール通知
  用紙切れなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。

設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡「ユーザー情報の登録（Web Config）」34ページ
➡「メール通知の概要」108ページ

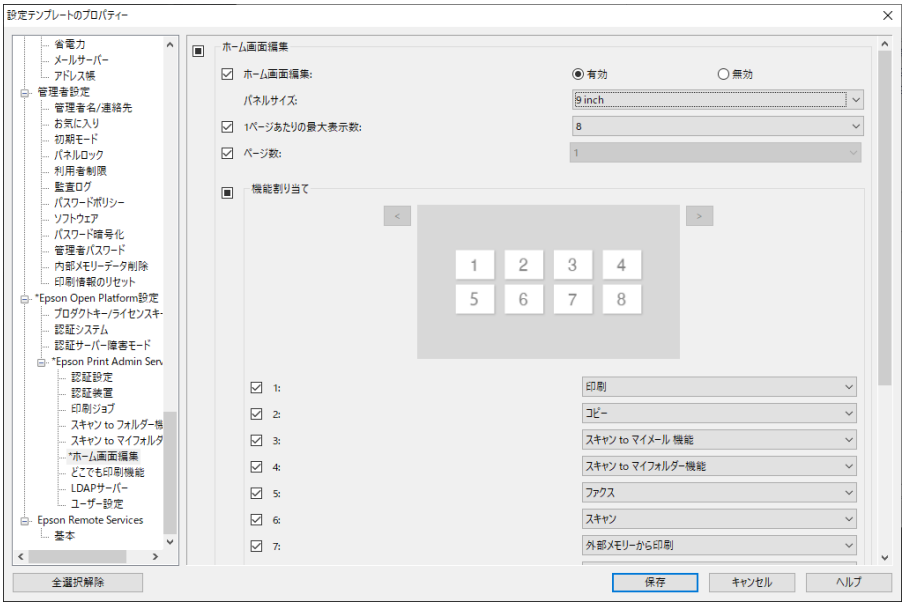
ホーム画面を編集する（設定テンプレート）

操作パネルのホーム画面に表示するアイコンのレイアウトを編集し、必要なアイコンだけを表示できます。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ホーム画面編集］を選択します。

2. 各項目を設定します。

> **！重 要** 以下の場合は、特定の機能のアイコンがホーム画面に表示されません。
> - 利用者制限で使用できない機能を選択した場合
> - ログインしたユーザーのメールアドレスが登録されていない場合（スキャン to マイメール 機能）
> - 保存先のフォルダーが設定されていない場合（スキャン to マイフォルダー機能）



ホーム画面編集の項目

項目	説明
ホーム画面編集	ホーム画面編集機能の有効 / 無効を設定します。
パネルサイズ	設定するデバイスの画面サイズを選択します。
1ページあたりの最大表示数	1画面に表示する機能（アイコン）の最大数を選択します。
ページ数	画面数を選択します。
機能割り当て	1画面に表示する番号に割り当てる機能（アイコン）を選択します。

どこでも印刷機能を設定する（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessを利用しているプリンターと連携して、どのプリンターからでも印刷できるように設定できます。
ユーザーのコンピューターから印刷データを送るプリンターを親機として、4台まで子機を登録できます。

！重要 連携するプリンターは以下の環境が必要です。

- Epson Print Admin Serverlessが使用できる
- どこでも印刷機能に対応している
- Epson Print Admin Serverless設定が全て同じに設定されている
- 増設ネットワークインターフェイスボードを使用している場合、増設ネットワークインターフェイスでは印刷ジョブの受信のみができます。
  受信した印刷ジョブは子機に登録したプリンターから印刷できます。

異なる機種のプリンターと連携して印刷する場合、印刷設定によっては印刷できないことがあります。

関連情報

➡ 「どこでも印刷機能で連携したプリンターで印刷ジョブが選択できず印刷できない」115ページ

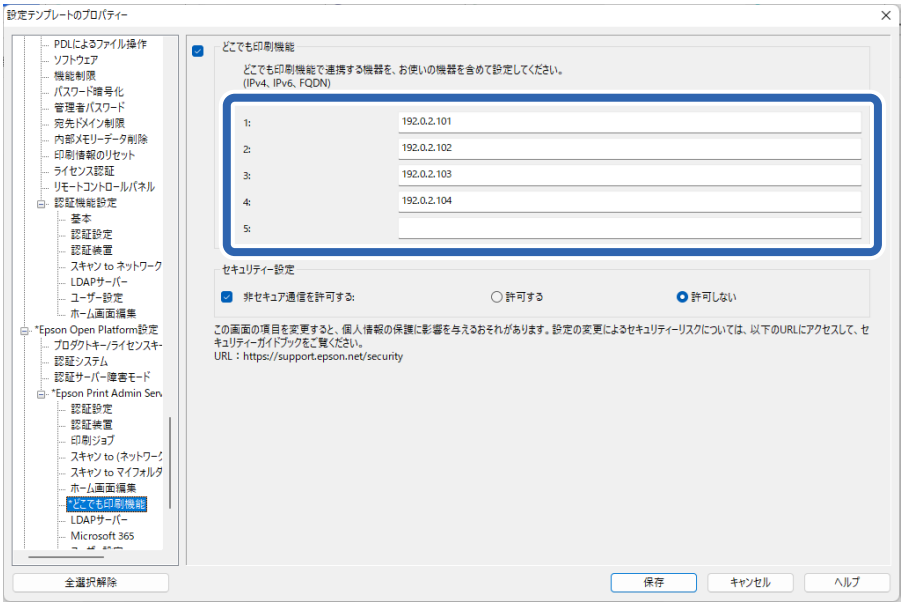
プリンターを連携する（設定テンプレート）

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［どこでも印刷機能］を選択します。

2. ［1:］から［5:］に連携するプリンターを設定します。

   IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。FQDN形式（<ホスト名>.<ドメイン名>形式）では以下が使用できます。

   - ホスト名：2～63バイトのUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）
   - ドメイン名：2～249バイトのUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）。ピリオドは区切り文字として使用して連続はできません。また63バイト以内でピリオドで区切ってください。



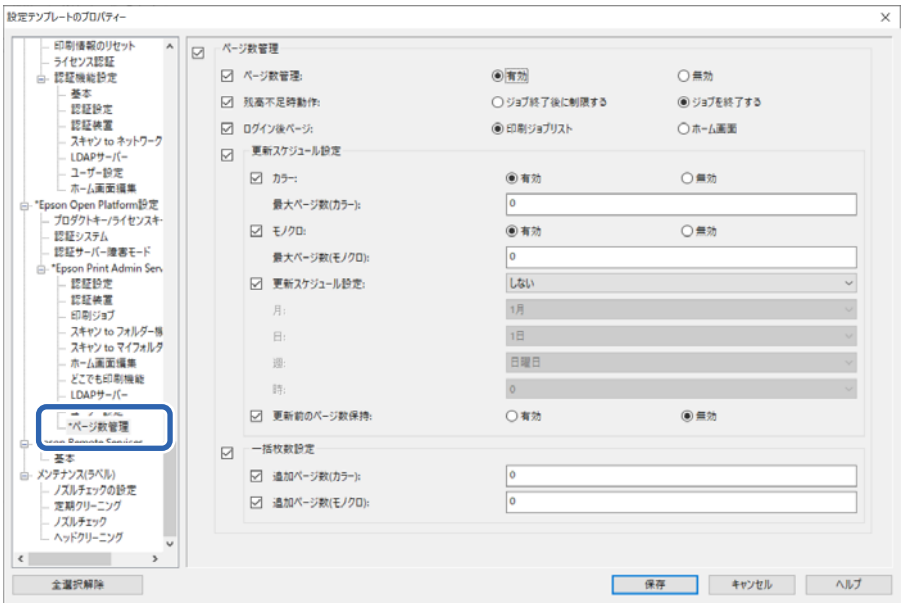
ページ数管理を設定する（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessのページ数管理を設定します。
本体認証で使用するユーザーにページ数管理を設定できます。

参考　ユーザーごとにページ数管理の設定を変えたいときは［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ユーザー設定］で設定してください。

1. 設定テンプレートから、［Epson Open Platform設定］ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ページ数管理］を選択します。

2. 各項目を設定します。



関連情報

➡ 「ユーザー情報の登録（設定テンプレート）」77ページ

ページ数管理 設定項目（設定テンプレート）

項目	説明
ページ数管理	ページ数管理を行うか選択します。

項目	説明
残高不足時動作	ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が不足した時の動作を選択します。 • ジョブ終了後に制限する ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が0以下になっても、印刷中のジョブは最後まで印刷されます。次に印刷するジョブは操作パネルに残ページ数不足のメッセージが表示され印刷できません。 • ジョブを終了する ジョブの印刷中に印刷可能なページ数が0以下になると、操作パネルに残ページ数不足のメッセージが表示され印刷が中止されます。中止された印刷ジョブは削除されずに印刷ジョブ一覧に保持されます。 **!重要** 印刷する前に印刷ページ数が判定できない場合、印刷可能なページ数を超えても印刷が行われることがあります。 ページ数を判定できないのは以下のような場合です。 • ADFを使ったコピー • 印刷設定で［カラー(自動)］を選択した印刷
ログイン後ページ	プリンターにログオンした後に表示される画面を選択します。 • 印刷ジョブリスト 印刷ジョブリストを表示します。 ユーザー情報の設定で［ログオン後の自動印刷］が有効の場合、ユーザーがプリンターにログオンすると自動で印刷が開始されます。 • ホーム画面 ホーム画面を表示します。 ユーザー情報の設定で［ログオン後の自動印刷］が有効になっている場合でも、［ホーム画面］が選択されていると、ユーザーがプリンターにログオンしても自動で印刷が開始されません。
更新スケジュール設定	印刷可能なページ数を定期的に更新するための設定を行います。
一括枚数設定	印刷可能なページ数を追加します。

- 更新スケジュール設定

項目		説明
カラー	有効/無効	［有効］を選択すると、カラー印刷可能なページ数は［最大ページ数(カラー)］で設定したページ数で定期的に更新されます。
	最大ページ数(カラー)	定期的に更新するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。 ［カラー］で［有効］が選択されているときに入力できます。
モノクロ	有効/無効	［有効］を選択すると、モノクロ印刷可能なページ数は［最大ページ数(モノクロ)］で設定したページ数で定期的に更新されます。
	最大ページ数(モノクロ)	定期的に更新するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は0～999,999です。 ［モノクロ］で［有効］が選択されているときに入力できます。
更新スケジュール設定		印刷可能なページ数を更新するスケジュールを設定します。 ［しない］を選択すると、定期的なページ数の更新は行われません。
	月	ページ数を加算する月を選択します。 ［更新スケジュール設定］で［年］が選択されているときに入力できます。
	日	ページ数を加算する日にちを選択します。 ［更新スケジュール設定］で［年］または［月］が選択されているときに入力できます。
	週	ページ数を加算する曜日を選択します。 ［更新スケジュール設定］で［週］が選択されているときに入力できます。
	時	ページ数を加算する時刻を選択します。 ［更新スケジュール設定］で［しない］以外が選択されているときに入力できます。
更新前のページ数保持		印刷可能なページ数を更新するときに、更新前のページ数を保持するかどうか設定します。 ［有効］を選択すると、残ページ数を繰り越して［最大ページ数(カラー)］または［最大ページ数(モノクロ)］で設定したページ数が加算されます。残ページ数が負の場合、負の分を差し引いたページ数が加算されます。

- 一括枚数設定

項目	説明
追加ページ数(カラー)	追加するカラー印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、カラー印刷可能なページ数を削減できます。
追加ページ数(モノクロ)	追加するモノクロ印刷可能なページ数を入力します。入力できるページ数は-999,999～999,999です。 負の数字を入力すると、モノクロ印刷可能なページ数を削減できます。

クライアントコンピューターの設定

プリンタードライバーのインストール

お使いのプリンター用の標準ドライバーをクライアントコンピューターにインストールしてください。インストールされている場合は、最新のドライバーにアップデートしてください。

プリンタードライバーの設定

Epson Print Admin Serverlessで印刷するには、ユーザー情報を印刷ジョブと一緒にプリンターに送信する必要があります。
ユーザー情報の登録や設定をクライアントコンピューターで行ってください。設定するときは管理者権限のアカウントでコンピューターにログオンしてください。
設定や使い方の詳細は、『Epson Print Admin Serverless 使い方ガイド - コンピューターからの印刷』をご覧ください。

Windowsドライバーのユーザー設定

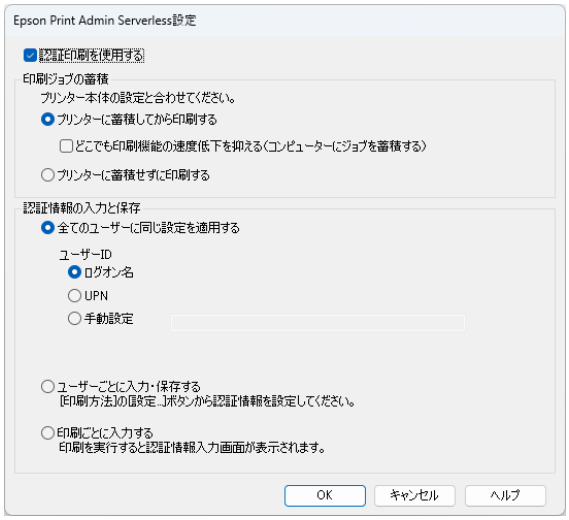
Windowsでは、プリンタードライバーにユーザー情報を設定します。ユーザー情報の設定には以下の3つがあります。

- 全てのユーザーに同じ設定を適用する
  このコンピューターから認証印刷をする場合、［ユーザーID］と［パスワード］で指定したユーザーIDとパスワードを常に使用します。
  ［パスワード］はヨーロッパ、中東、アフリカ地域でのみ利用できます。
  印刷時にユーザーIDをとパスワード再度設定する必要はありません。
  ログオン名と同じユーザーIDを使用しているときや、固定のユーザーIDを使用するときに選択してください。
- ユーザーごとに入力・保存する
  印刷時にプリンタードライバーの［応用設定］タブ（または［仕上げ］タブ）の［印刷方法］にある［設定］を選択して、［認証情報設定］画面でユーザーIDを設定とパスワードします。
  パスワードの設定はヨーロッパ、中東、アフリカ地域でのみ利用できます。
  一度設定すれば使用するユーザーIDまたはパスワードを変更しない限り、設定し直す必要はありません。使用するユーザーIDまたはパスワードを変更するときは、［認証情報設定］画面でユーザーIDまたはパスワードを変更してください。
- 印刷ごとに入力する
  印刷時に［認証情報設定］画面が表示され、ユーザーIDとパスワードを設定します。
  パスワードはヨーロッパ、中東、アフリカ地域でのみ利用できます。
  複数のユーザーが１つのユーザーアカウントを共有してコンピューターを使用しているときに便利です。

印刷ジョブの蓄積

コンピューターからの印刷時、印刷ジョブをプリンター本体に蓄積するかしないか設定します。印刷ジョブの蓄積は、印刷ジョブ設定で許可している場合に使用できます。

- ［プリンターに蓄積してから印刷する］
  送信した印刷ジョブをプリンター本体に蓄積します。認証カードなどでプリンターにログインし、ジョブを選択して印刷します。
- ［どこでも印刷機能の速度低下を抑える］
  どこでも印刷の使用時に、印刷速度が遅くなった場合にチェックを入れてください。どこでも印刷を使用していないときはチェックを外してください。
- ［プリンターに蓄積せずに印刷する］
  送信した印刷ジョブを直接印刷します。印刷ジョブはプリンターに蓄積されません。

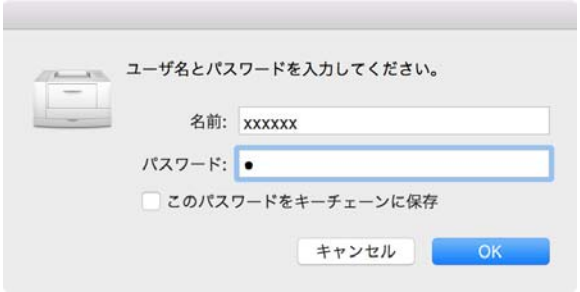


関連情報

➡ 「印刷ジョブを設定する（Web Config）」33ページ
➡ 「印刷ジョブを設定する（設定テンプレート）」64ページ

Mac OSドライバーのユーザー設定

Mac OSでは、印刷時に入力画面が表示され、ユーザーIDを設定します。設定をキーチェーンに保存すると次回から入力を省略できます。



！重要 Mac OSの場合、プリンターをIP接続すると認証ができません。プリンターをBonjourまたはIPPプロトコルで接続してください。

関連情報

➡ 「プリンターをBonjour接続する」94ページ
➡ 「プリンターをIPP接続する」94ページ

プリンターをBonjour接続する

1. ［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）を開きます。
2. ［+］（または［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］）をクリックします。
   メニューが表示されるときは、［プリンタまたはスキャナを追加］をクリックします。
3. ［デフォルト］が選択されていることを確認し、［名前］からお使いのプリンターを選択します。
4. ［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］（または［使用するドライバを選択］）を選択します。
5. ［プリンタソフトウェア］画面でお使いのプリンターを選択し、［OK］をクリックします。
6. ［追加］をクリックします。

プリンターをIPP接続する

1. ［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）を開きます。
2. ［+］（または［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］）をクリックします。
   メニューが表示されるときは、［プリンタまたはスキャナを追加］をクリックします。
3. ［IP］を選択します。
4. ［アドレス］にプリンターのホスト名またはIPアドレスを入力します。
5. ［プロトコル］から［IPP (Internet Printing Protocol)］を選択します。
6. ［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］（または［使用するドライバを選択］）を選択します。
7. ［プリンタソフトウェア］画面でお使いのプリンターを選択し、［OK］をクリックします。
8. ［追加］をクリックします。

認証情報の接続形態について

プリンタードライバーから印刷するジョブには、USB接続、ネットワーク接続どちらも認証情報が必要です。認証情報のない印刷ジョブは読み捨てられます。

USB接続は以下の方法で禁止できます。その場合、印刷ジョブは読み捨てられます。

- Web Config：
  ［本体セキュリティー］ - ［外部インターフェイス］ - ［コンピューターのUSB接続］を［無効］に設定
- Epson Device Admin（設定テンプレート）：
  ［共通］ - ［外部インターフェイス］の［USBデバイスI/F］を［使用しない］に設定

運用・管理

Epson Device Adminを使ったユーザーレポート

Epson Device Adminを使用してEpson Print Admin Serverlessのレポートをグループやユーザーごとに作成できます。レポートの作成には、レポートの期間を指定して作成する方法とスケジュールを設定して定期的に作成する方法があります。レポートの作成を始める前にデバイスグループを作成してください。
この設定項目は、Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを有効にすると表示されます。

> **！重要** Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していないと、プリンターからジョブ履歴を収集できません。
> あらかじめプリンターの管理者パスワードを登録してください。登録の手順は以下を参照してください。
> 「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」12ページ

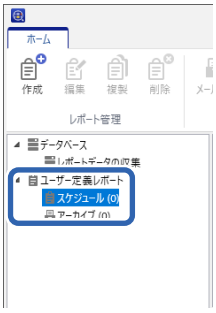
関連情報

➡ 「Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを表示する」102ページ

ユーザーレポートを生成する

1. サイドバータスクメニューで［レポート］を選択します。

2. ツリービューで［ユーザー定義レポート］-［スケジュール］を選択します。

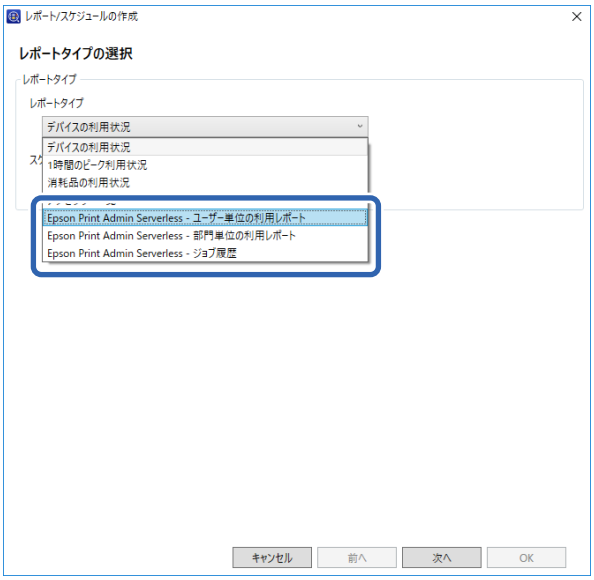


3. リボンメニューで［作成］をクリックします。

   レポート作成ウィザードが表示されます。

4. レポートデータを収集する条件を以下から選択します。

［Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート］ / ［Epson Print Admin Serverless - 部門単位の利用レポート］ / ［Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴］



5. 期間を指定してレポートを作成するか、スケジュールを設定して定期的に作成するかを選択します。

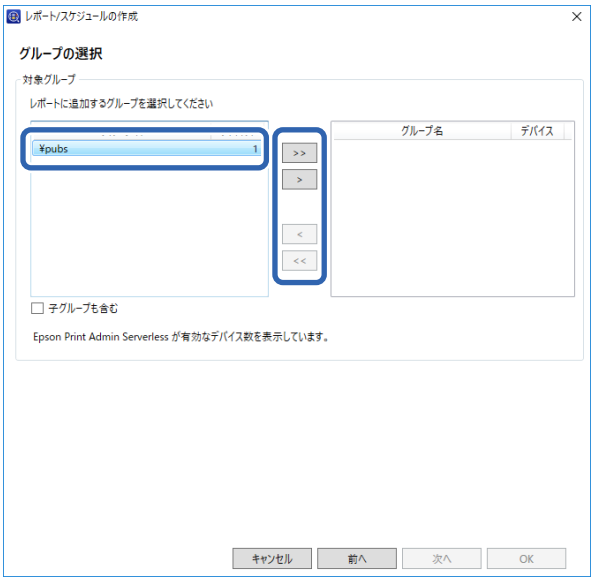
期間を指定してレポートを作成する場合：［スケジュールの作成］のチェックを外します。
スケジュールを作成する場合：［スケジュールの作成］をチェックします。

6. ［次へ］をクリックします。

7. レポート対象のグループを選択します。

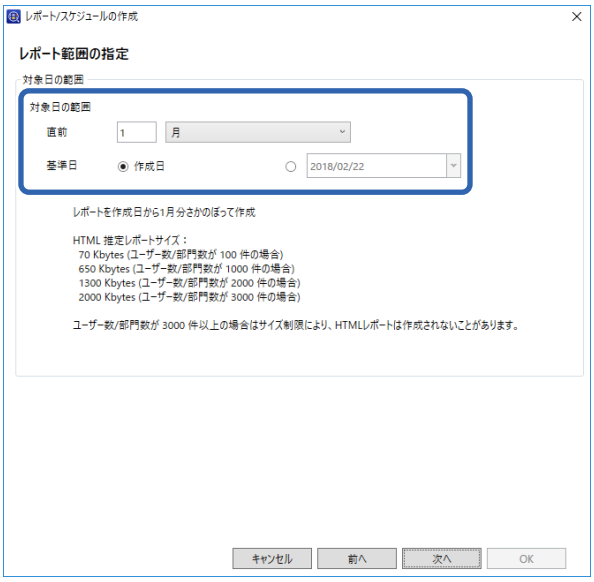
右の枠にリストされているグループが対象です。変更するには［>］、［>>］、［<］、［<<］を使ってグループを 移動します。
［>］、［<］は選択したグループ、［>>］、［<<］は全てのグループを移動できます。
［子グループも含む］にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

参考　認証方式で［みなし認証］を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。



8.　［次へ］をクリックします。

9.　レポートの対象期間を設定します。

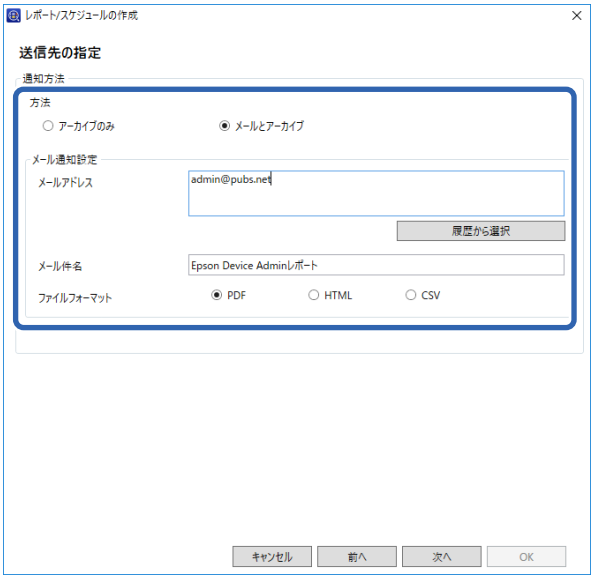


以下を参照して設定してください。

項目	説明
対象日の範囲	レポートの作成日または指定した日を基点とした期間を指定します。1 以上の数字と日 / 週 / 月 / 年の単位の組み合わせで指定してください。

10.　［次へ］をクリックします。

11. レポートの送信先を設定します。



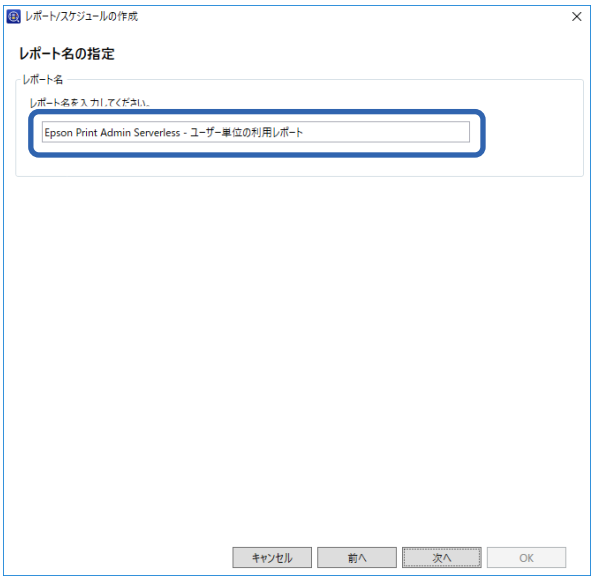
以下を参照して設定してください。

項目	説明
方法	メールで通知するかどうか指定します。
メールアドレス	レポートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は；で区切ります。 区切りの文字を合わせて32767 バイトまで入力できます。宛先は全て To になります。 CC、BCC は設定できません。
メール件名	レポートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
ファイルフォーマット	レポートのファイル形式です。PDF、HTML、CSV から選択します。 ［ジョブ履歴］のレポートはCSVのみ指定できます。

12. ［次へ］をクリックします。

13. レポートの名前を設定します。

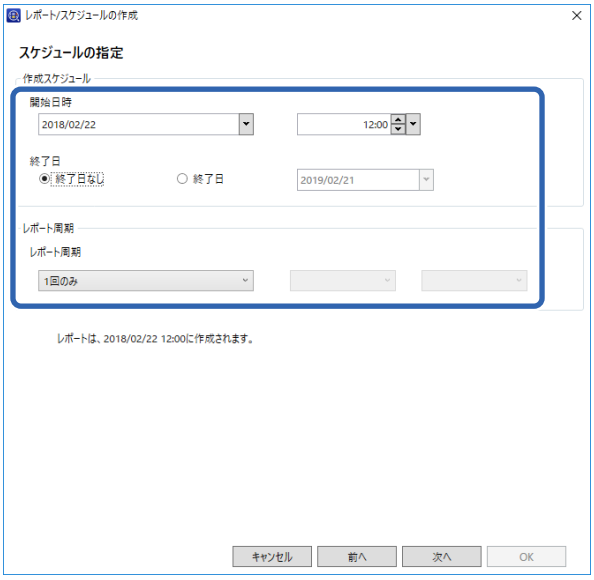
レポート名は Unicode で表すことができる文字1024文字以内で入力してください。



14. ［次へ］をクリックします。

15. スケジュールを設定します。

参考
- 手順 5 で［スケジュールの作成］のチェックを外すと、この画面は表示されません。
- ［作成スケジュール］の［開始日時］の時間は、データ収集の時刻よりも後の時刻に設定してください。データ収集時刻の前 に設定すると、レポート対象期間の最終日分のデータ収集が始まる前にレポートが作成されます。



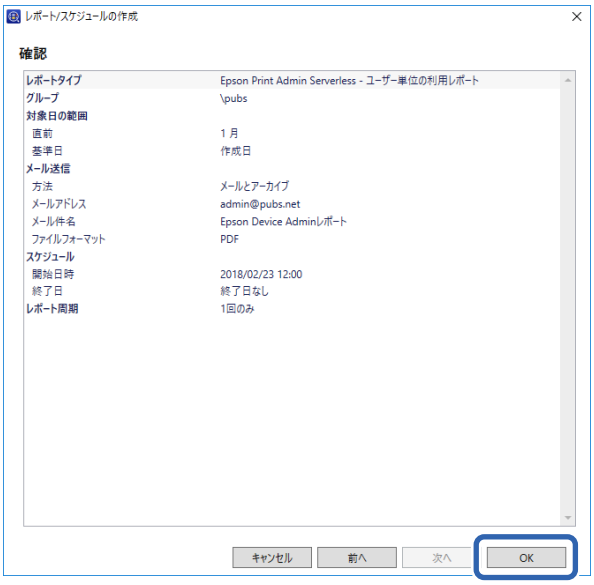
以下を参照して設定してください。

項目	説明
開始日時	スケジュールを開始する日時を設定します。設定できる単位は 1 分です。

項目	説明
終了日	スケジュールを終了する日時を設定します。 終了日を設定しない場合は［終了日なし］を選択します。
レポート周期	レポートを作成する期間の単位を設定します。

16. ［次へ］をクリックします。

17. ［OK］をクリックします。



レポートまたはスケジュールが作成されます。作成されたレポートは、アーカイブレポートとして保存されます。

レポート出力の項目

レポートでは以下の項目が出力されます。

ユーザー単位の利用レポート

ユーザーID/部門/ページ数小計/印刷カラー片面/印刷カラー両面/印刷モノクロ片面/印刷モノクロ両面/コピーカラー片面/コピーカラー両面/コピーモノクロ片面/コピーモノクロ両面/ファクス送信/スキャン/ファクス受信

部門単位の利用レポート

部門/ページ数小計/印刷カラー片面/印刷カラー両面/印刷モノクロ片面/印刷モノクロ両面/コピーカラー片面/コピーカラー両面/コピーモノクロ片面/コピーモノクロ両面/ファクス送信/スキャン/ファクス受信

参考　認証方式で［みなし認証］を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

ジョブ履歴

日付/ジョブID/操作/ユーザーID/部門/処理結果/処理結果詳細/ジョブ名/印刷：ユーザー名/印刷：用紙サイズ/印刷：両面/印刷：カラー/印刷：面数/スキャン：宛先種別/スキャン：宛先/スキャン：用紙サイズ/スキャン：両面/スキャン：カラー/スキャン：面数/コピー：用紙サイズ/コピー：両面/コピー：カラー/コピー：面数/ファクス受信：用紙サイズ/ファクス受信：両面/ファクス受信：カラー/ファクス受信：面数/デバイス：機種/デバイス：IPアドレス/デバイス：製造番号/デバイス：部門/デバイス：設置先名/デバイス：備考/デバイス：備考2

Epson Device Adminを使ったプリンターの管理

Epson Device Adminを使ってプリンターの管理をすることができます。

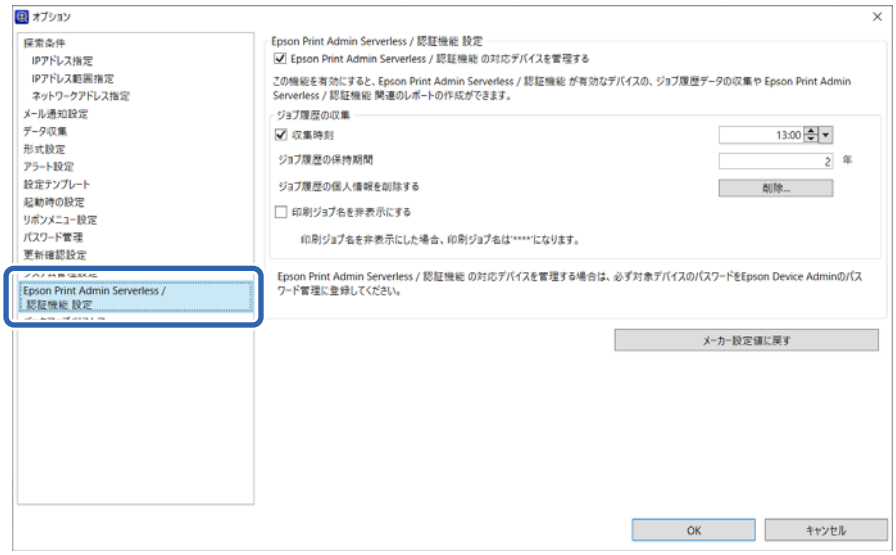
Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを表示する

Epson Print Admin Serverlessに関する設定メニューを表示します。デフォルトでは表示しないように設定されています。

！重要 Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していない場合は、先にパスワードを登録してください。
登録の手順は以下を参照してください。
「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」12ページ

1. Epson Device Adminを起動します。

2. リボンメニューで［オプション］をクリックし、［Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定］を選択します。



3. 各項目を設定します。

4. ［OK］をクリックします。

Epson Print Admin Serverless設定

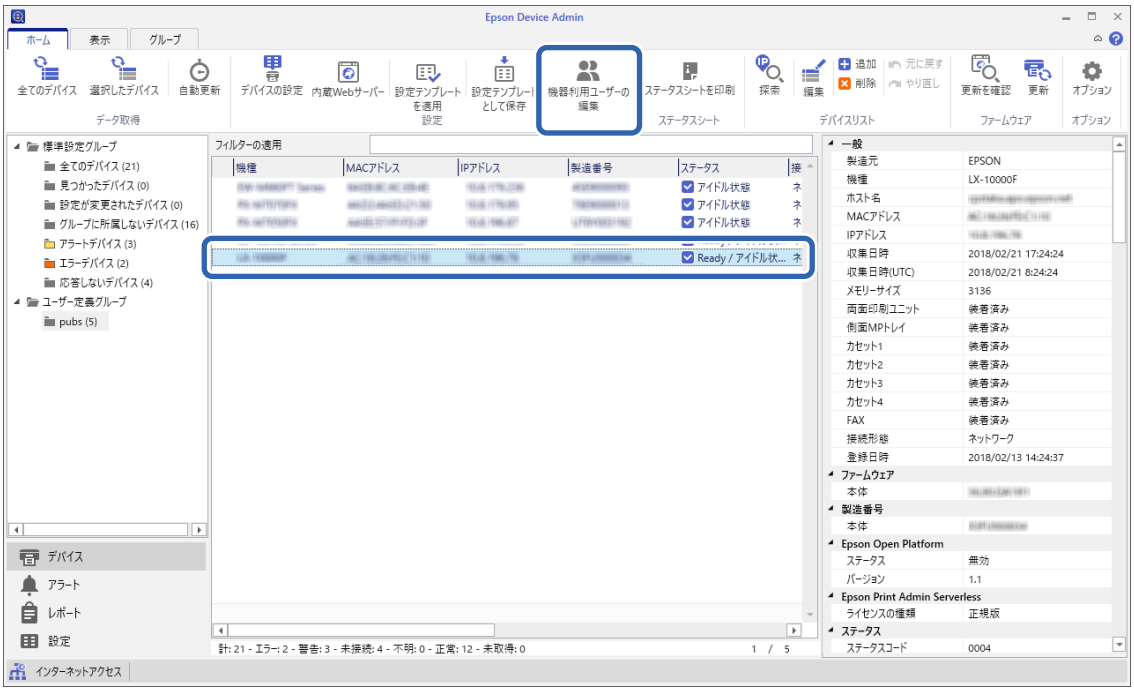
項目	説明
Epson Print Admin Serverless / 認証機能 の対応デバイスを管理する	チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessに関する設定項目を有効にし、以下の操作や設定ができます。 • Epson Print Admin Serverlessが有効のプリンターのジョブ履歴データ収集 • Epson Print Admin Serverless関連レポートの生成 • リボンメニューの［機器利用ユーザーの 編集］ボタンの表示
収集時刻	チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessが有効なプリンターのジョブ履歴のデータを収集する時刻を設定できます。
ジョブ履歴の保持期間	Epson Device Adminがジョブ履歴を保持している期間を最長5年まで設定できます。保持期間が過ぎたジョブ履歴は削除されます。
ジョブ履歴の個人情報を削除する	［削除］をクリックすると、ジョブ履歴の個人情報を削除できます。
印刷ジョブ名を非表示にする	チェックを付けると、ジョブ履歴に記録される印刷ジョブ名を伏せ字にできます。印刷ジョブ名を表示したくない場合に設定します。

ユーザー情報のメンテナンス

本体に登録されているユーザー情報をメンテナンスできます。

個別に編集する

1. デバイス一覧からユーザー情報をメンテナンスするプリンターを選択します。



2. リボンメニューから［設定］ - ［機器利用ユーザーの 編集］を選択します。

   ユーザー一覧が表示されます。

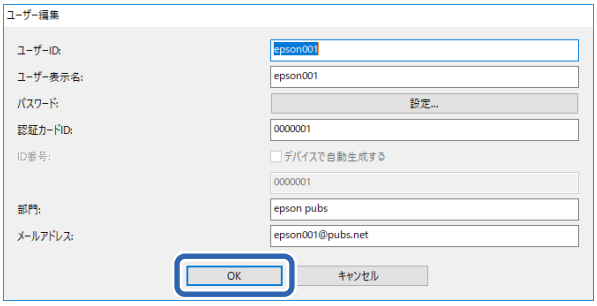
3. 編集したいユーザーを選択します。

   参考 ［検索］で検索したい項目を選択してキーワードを入力し、［実行］をクリックするとユーザー一覧から検索ができます。
   ［クリア］をクリックすると入力した値をクリアできます。

4. ［編集］をクリックします。

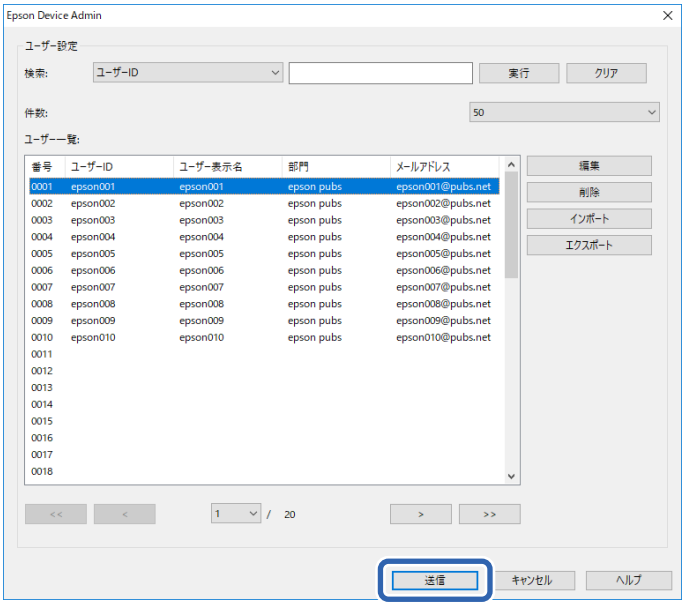
   ユーザー情報が表示されます。

5. 各項目を編集し、［OK］をクリックします。



6. ［送信］をクリックします。

送信確認画面が表示されます。



7. 送信確認画面で［OK］をクリックします。

8. 完了画面で［OK］をクリックします。

一括で編集する

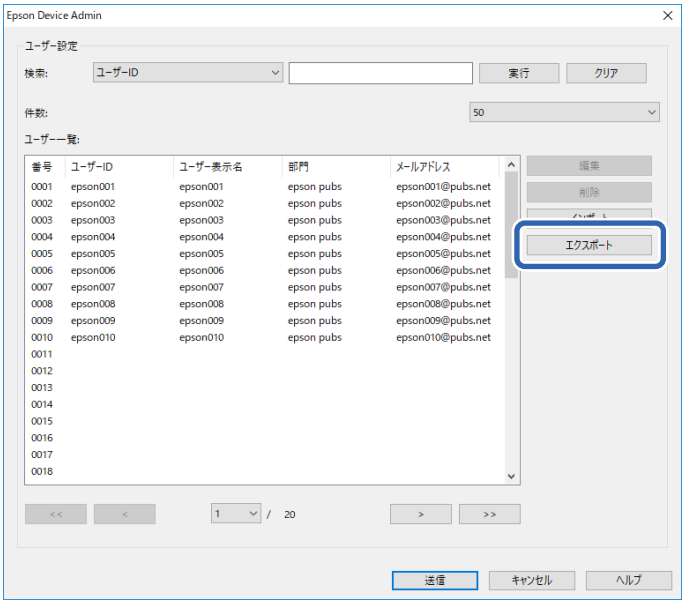
1. デバイス一覧からユーザー情報をメンテナンスするプリンターを選択します。

2. リボンメニューから［設定］ - ［機器利用ユーザーの 編集］を選択します。

ユーザー情報が表示されます。

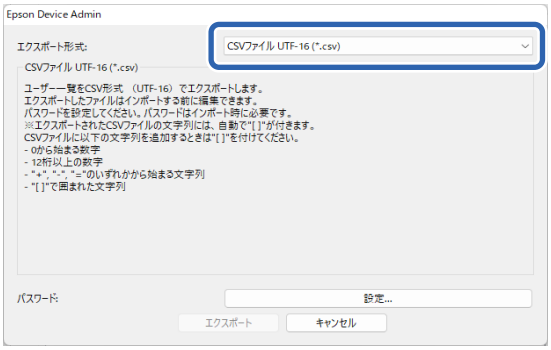
3. ［エクスポート］をクリックします。

エクスポート形式選択画面が表示されます。



4. ユーザー情報のエクスポート形式を選択します。

Microsoft Excel でCSVファイルを編集する場合、［CSVファイル UTF-16 (*.csv)］でエクスポートしてください。ファイル形式の詳細は関連情報をご覧ください。



5. CSV/ENEファイルに認証パスワードを設定します。

このパスワードはCSV/ENEファイルのインポート時に入力が求められます。

6. ［エクスポート］をクリックします。

7. ファイルの保存場所を選択し、［保存］をクリックします。

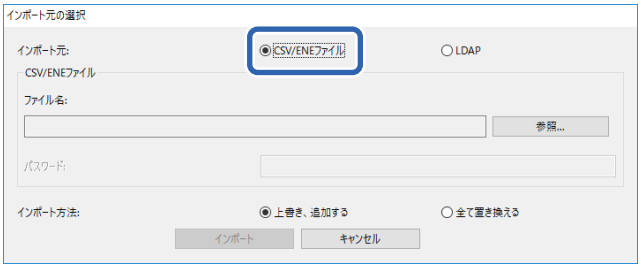
ファイルが保存されます。

8. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。インポートできなくなることがあります。

9. ［インポート］をクリックします。

10. ［インポート元］で［CSV/ENEファイル］を選択します。



11. ［参照］をクリックします。

ファイル選択画面が表示されます。

12. インポートするファイルを選択して［開く］をクリックします。

13. 選択したCSV/ENEのパスワードを入力します。

14. インポート方法を選択します。

- 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
- 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。

15. ［インポート］をクリックします。

確認画面が表示されます。

16. ［OK］をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

参考 ［ユーザーの削除］をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して［削除］をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

17. ［インポート］をクリックします。

関連情報

➡ 「エクスポート形式」107ページ

エクスポート形式

項目	説明
CSVファイル UTF-16 (*.csv)	Unicode（UTF16）にエンコードされた、タブ区切りのCSVファイルにエクスポートします。
CSVファイル UTF-8(*.csv)	Unicode（UTF8）にエンコードされた、カンマ区切りまたはセミコロン区切りのCSVファイルにエクスポートします。区切り記号は、［オプション］-［形式設定］の［CSVデータ区切り］で設定できます。

項目	説明
バイナリーファイル (*.ene)	ENEファイルにエクスポートします。暗号化したバイナリーファイルなので、編集できません。

Web Configを使ったプリンターの情報確認

Web Configを使って、プリンターの情報を確認できます。

メール通知とスナップショット

メール通知と画面のスナップショットを使うと離れたところにあるプリンターの状態を確認できます。

メール通知の概要

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。
宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。
この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。
設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認する

Web Configを使って遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認できます。

1. 確認したいプリンターのWeb Configを起動します。

   メール通知を受け取っている場合は、メールに記載されているURLからWeb Configを起動できます。

2. ［情報確認］タブ - ［パネルのスナップショット］の順に選択します。

   プリンターの現在のパネルがWeb Configに表示されます。
   更新する場合は、［最新の状態へ更新］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

印刷ジョブを削除する

プリンター本体に蓄積されている印刷ジョブを削除できます。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［印刷ジョブ］を選択します。

2. ［印刷ジョブを削除できます。］で削除する印刷ジョブの対象を選択します。

項目	説明
印刷済み	保持されている印刷ジョブを全て削除します。
全て	本体にある印刷ジョブを全て削除します。

3. ［削除］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

登録されているお気に入り（個人のクラウドストレージ）を管理する

ユーザーは以下の設定をプリンターの操作パネルからお気に入り（個人のクラウドストレージ）に登録することができます。

- クラウドプリント機能の設定
  印刷したいデータがあるフォルダーや印刷設定
- スキャンしたデータをクラウドストレージに保存する機能の設定
  スキャンしたデータの保存先フォルダーやスキャン設定

管理者はユーザーが登録したお気に入り（個人のクラウドストレージ）の管理ができます。
ここでは、登録されているお気に入りを削除する手順を説明します。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［お気に入り(個人のクラウドストレージ)］を選択します。

   参考 お気に入りの登録がない場合は、「お気に入りが登録されていません。」と表示されます。

2. 削除したいお気に入りのチェックボックスにチェックを入れます。

3. ［削除］をクリックします。

参考 お気に入りを全て削除するには、［購入時の設定に戻す］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

設定のバックアップ

Web Configの設定やEpson Device Adminの設定テンプレートをバックアップできます。

!重要

- ライセンスキーはエクスポートでバックアップできません。テキストファイルやメモなどで記録しておくことをお勧めします。
  プリンターを入れ替えた場合は同じライセンスキーを使用できません。その場合、販売店にご相談ください。
- Epson Print Admin Serverlessの設定をバックアップするには、ライセンスキーが設定されている状態でエクスポートしてください。

Web Config設定

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［エクスポート］を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。

   チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリーを選択すると、子のカテゴリーが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は何も入力しません。
4. ［エクスポート］をクリックします。

   !重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは［本体ごとの個別設定を選択可能にする］にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

!重要

- ライセンスキーは設定ファイルに含まれません。Epson Print Admin Serverlessが無効になっている場合は、インポートする前に［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］でプロダクトキーを入力して、Epson Print Admin Serverlessを有効にしてください。
- プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］を選択し、［プロダクトキー/ライセンスキー］にライセンスキーを入力します。
2. ［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［インポート］を選択します。
3. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
4. ［次へ］をクリックします。
5. インポートする設定を選択して［次へ］をクリックします。
6. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

Epson Device Admin設定テンプレート

設定テンプレートをファイルに保存、読み込みできます。
デバイスリストやプリンター情報などのバックアップアップについては、Epson Device Adminのマニュアルをご覧ください。

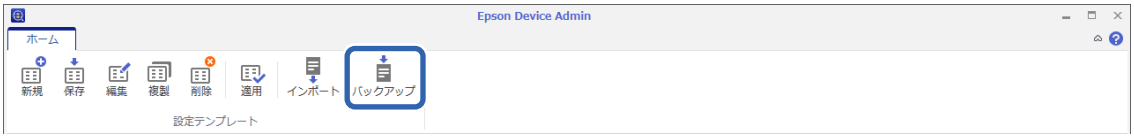
設定テンプレートをバックアップする

1. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。
2. テンプレートリストからバックアップする設定テンプレートを選択します。

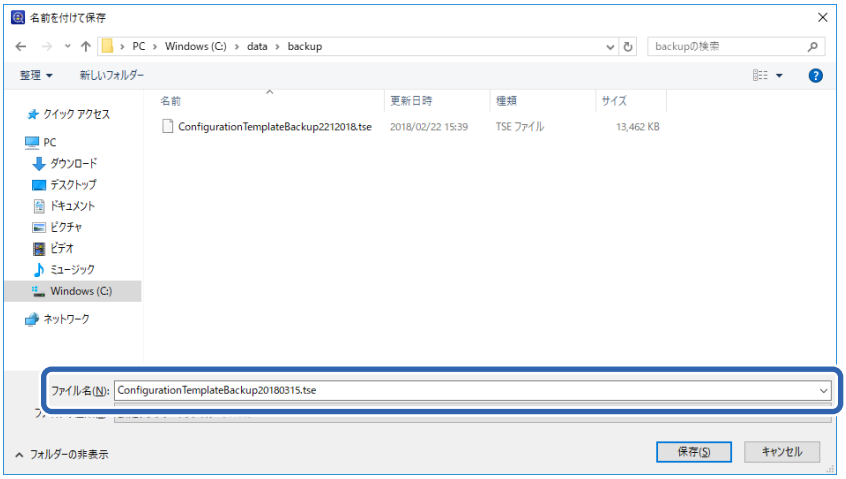
   プリセットの設定テンプレートは選択できません。

   参考 複数のプリンターやグループを選択するときは、［Ctrl］または［Shift］を押したままクリックして選択してください。

3. リボンメニューで［バックアップ］をクリックします。



4. 保存場所を選択してファイルに名前を付けます。



5. ［保存］をクリックします。

TSE 形式のテンプレートファイルが Zip でまとめて保存されます。

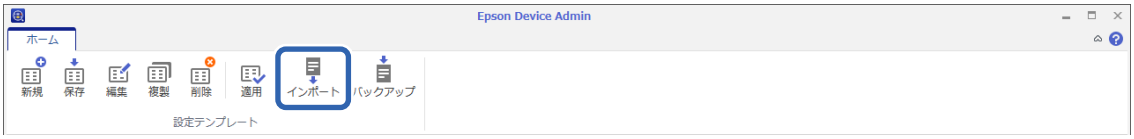
設定テンプレートをインポートする

あらかじめ設定テンプレートがまとめられている Zip ファイルを解凍して、設定テンプレートファイル（TSE 形式）を取り出してください。

1. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。

2. リボンメニューから［インポート］をクリックします。

ファイルインポートの画面が表示されます。



3. インポートする設定テンプレートファイル（TSE 形式）を選択します。

4. ［開く］をクリックします。

設定テンプレートがインポートされ、結果が表示されます。

5. ［OK］をクリックします。

Epson Print Admin Serverlessの無効設定

Epson Print Admin Serverlessの設定を無効にします。

> **!重要** Epson Print Admin Serverlessを無効にしてから再度有効にすると、設定されていた値が初期化されます。無効にする前に設定のバックアップをお勧めします。

関連情報

➡ 「設定のバックアップ」110ページ

Web Configから無効にする

Web Configを使って、Epson Print Admin Serverlessのライセンスを無効にできます。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］を選択します。

2. ［プロダクトキー/ライセンスキー］のプロダクトキーを削除します。

3. ［次へ］をクリックします。

   設定内容が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに送信され、通信が遮断されます。しばらくたってからブラウザーの画面を更新します。

5. ［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］を選択します。

   ［ライセンス情報 (Epson Print Admin Serverless)］の下階層の［Epson Open Platform設定］が非表示になっていればEpson Print Admin Serverlessは無効です。

   参考
   - 本体に蓄積されている印刷ジョブは全て削除されます。ユーザー情報、ログはEpson Print Admin Serverlessが無効になっても保持しています。これらはプリンター設定を工場出荷時の設定に戻すと削除できます。
   - Windowsの場合、プリンタードライバーで以下の設定をしてください。
     ［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンターの表示］を選択し、プリンターのアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択します。
     ［環境設定］タブを選択します。
     ［プリンター情報］の［プリンターから取得］にある［取得］をクリックします。
     ［Epson Print Admin Serverless］が［無効］になったことを確認します。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」10ページ

困ったときは

認証カードが読めない

以下を確認してください。

- 認証装置がプリンターに正しく接続されているか
  認証装置は必ずプリンターのサービス用ポートに接続してください。
- 動作確認している認証装置や認証カードかどうか
  動作確認している認証装置や認証カードは販売店にお問い合わせください。

Web Configを開けない

以下を確認してください。

- 入力したプリンターの IP アドレスが正しいか
  IP アドレスはプリンターの操作パネルやネットワーク接続診断、ステータスシートなどで確認できます。詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。
- ネットワーク接続診断をしてプリンターがネットワークに接続されているか
  ネットワーク診断の詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。

Epson Print Admin Serverlessを有効にできない

Web ConfigやEpson Device Adminで正しいライセンスキーを入力したか確認してください。

ライセンスキーが期限切れと表示される

ライセンスキーの有効期間内で、ライセンスキーの期限が切れていると表示される場合、プリンターの時刻設定が正しいか確認してください。
ライセンスの有効期間は販売店へお問い合わせください。

Epson Device Adminのレポートに内容がない

Epson Device Adminでユーザー単位の利用レポートや部門単位の利用レポート、ジョブ履歴のレポートに内容がない場合、以下を確認してください。

- Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録しているか
  Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していないと、プリンターからジョブ履歴を収集できません。
  登録の手順は以下を参照してください。
  「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」12ページ
- プリンターの管理者パスワードを変更した場合、［オプション］ - ［パスワード管理］で登録したパスワードを更新したか
- Epson Print Admin Serverlessのライセンスキーが、Epson Device Adminで認識されているか
  以下の手順でライセンスの状態を確認してください。
  1.Epson Device Adminを起動して、デバイスリストから対象のプリンターを選択します。
  2.デバイス詳細情報の［Epson Print Admin Serverless］ - ［ライセンスの種類］の表示を確認します。
  設定したにもかかわらずライセンスキーが認識されていない場合は、リボンメニューで［全てのデバイス］または［選択したデバイス］をクリックしてデータ取得を実行してみてください。
- 認証方式で［みなし認証］を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

どこでも印刷機能に関するトラブル

どこでも印刷機能が設定できない

以下を確認してください。

- 登録するプリンターがネットワークで接続されている
- 登録するプリンターのIPアドレスやFQDNが正しい
- Epson Print Admin Serverlessが使用できる
- 登録するプリンターがどこでも印刷機能に対応している

どこでも印刷機能で連携したプリンターで印刷ジョブが選択できず印刷できない

どこでも印刷機能で連携したプリンターで印刷する場合、印刷ジョブ選択時に「非対応の機能、または用紙のため選択できません。」メッセージが表示されて印刷できないことがあります。そのときは以下の設定を確認してください。

プリンタードライバーの設定をチェック

どこでも印刷機能で連携したプリンターが対応していない印刷設定では印刷できません。プリンタードライバーの設定でデータ高圧縮モードをオフにして印刷してください。もしくは、お使いのプリンタードライバーと同じ機種のプリンターで印刷してください。

- Windows：
  ［ユーティリティー］タブ - ［拡張設定］ - ［データ高圧縮モード］
- Mac OS：
  ［オプションとサプライ］ - ［オプション］ - ［データ高圧縮モード］

用紙種類や用紙サイズの設定をチェック

どこでも印刷機能で連携したプリンターが対応していない用紙種類や用紙サイズでは印刷できません。お使いのプリンタードライバーと同じ機種のプリンターで印刷してください。

クラウドディレクトリーサービス使用時のトラブル

スキャンしたファイルをクラウドストレージにアップロードできない

指定したクラウドストレージの保存先に、ファイルの書き込み権限が設定されているか確認してください。

クラウドストレージにあるファイルを印刷できない

クラウドストレージにあるファイルのアクセス権限が設定されているか確認してください。

付録

プリンターに記録されるユーザー情報

プリンターに記録されるユーザー情報と削除方法は以下の通りです。

情報	削除方法	データ格納場所
Epson Print Admin Serverless ユーザー設定 • ユーザーID • ユーザー表示名 • パスワード • 認証カードID • 部門 • メールアドレス	プリンターの操作パネル - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期状態に戻す］ - ［メモリー全消去］、［全メモリー/設定の初期化］	データ格納場所： フラッシュメモリー
	Web Config - ［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［ユーザー設定］、［全削除］、［削除］	
	Web Config - ［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］ Epson Open Platformのプロダクトキーを入力する	
Epson Print Admin Serverless ログ	プリンターの操作パネル - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期状態に戻す］ - ［メモリー全消去］、［全メモリー/設定の初期化］	データ格納場所： • フラッシュメモリー • ハードディスク
Epson Print Admin Serverless 蓄積印刷ジョブ	プリンターの操作パネル - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期状態に戻す］ - ［メモリー全消去］、［全メモリー/設定の初期化］	データ格納場所： ハードディスク
	プリンターの操作パネル - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［HDD消去設定］ - ［メモリー全消去］	
	プリンターの操作パネル - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［内部メモリーデータ削除］ - ［本体メモリー内のジョブの全削除］	
	Web Config - ［Epson Open Platform］タブ - ［Epson Print Admin Serverless］ - ［印刷ジョブ］、［印刷ジョブの全削除］、［全削除］	

商標

- Google ChromeはGoogle LLCの商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer、Microsoft 365、Microsoft Edge、Microsoft Entra、Microsoft Teams、OneDrive、Outlook、SharePoint、Windows、Windows Serverは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Apple、macOS、OS X、Bonjour、Safariは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.

- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2022-2026 Seiko Epson Corporation.

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。